

(別添)

児童養護施設入所児童等調査の概要

(平成30年2月1日現在)

厚生労働省子ども家庭局
厚生労働省社会援護局障害保健福祉部
令和2年1月

目次

調査の概要	1
結果の概要	2
I 児童の現在の状況	2
1 児童の現在の年齢 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
2 児童の委託(入所)時の年齢 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
3 児童の委託(在所)期間 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
4 児童の委託(入所)経路 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
5 児童の就学状況 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
6 児童の心身の状況 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
7 児童の罹患傾向 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
8 特に指導上留意している点 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
9 学業の状況 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
10 通学状況 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム)	
II 委託(入所)時の家庭の状況	12
1 養護問題発生理由 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
3 委託(入所)時の保護者の状況 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
III 家族との関係	16
1 家族との交流関係 (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
2 児童の今後の見通し (里親、児童児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
IV 里親家庭の状況	19
1 里親申込みの動機	
2 登録期間	
3 委託児童数	
4 里親の年齢	
5 里親の仕事の種類	
6 里親家庭の年間所得	
7 里親家庭の住宅所有状況	
V 母子生活支援施設入所世帯(母親)の状況	21
1 児童数	
2 入所理由及び在所期間	
3 入所時の年齢	

- 4 母子世帯になった理由
- 5 年金等の受給状況
- 6 公営住宅入居希望の有無及び現在の状況
- 7 従業上の地位及び仕事の種類
- 8 転職希望の有無
- 9 年間所得

VI 児童養護施設の年長児童の状況 25

- 1 年長児童の就学状況
- 2 児童の生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 高等学校（各種学校）進学希望
- 5 大学（短大）進学希望
- 6 将来の希望（1）－職業－
- 7 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 8 友人関係

VII 児童自立支援施設の年長児童の状況 31

- 1 年長児童の就学状況
- 2 児童の生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 高等学校（各種学校）進学希望
- 5 大学（短大）進学希望
- 6 将来の希望（1）－職業－
- 7 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 8 友人関係

VIII 自立援助ホームの児童の状況 37

- 1 児童の就学状況
- 2 児童の生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 大学（短大）進学希望
- 5 将来の希望（1）－職業－
- 6 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 7 友人関係

IX 障害児入所施設の児童の状況	42
1 障害児入所施設の設置状況	
2 入所児童の契約、措置の割合	
3 入所時の年齢別児童数	
4 在所期間別児童数	
5 入所児童の入所経路	
6 児童の就学状況	
7 児童の心身の状況	
8 児童の罹患傾向	
9 特に指導上留意している点	
10 学業の状況	
11 通学状況	
X 障害児入所施設の委託（入所）時の家庭の状況	48
1 養護問題発生理由	
2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類	
3 委託（入所）時の保護者の状況	
4 委託（入所）時の家庭の課税状況	
XI 障害児入所施設の家族との関係	51
1 家族との交流関係	
2 児童の今後の見通し	

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童福祉法に基づいて、里親若しくは小規模住居型児童養育事業（以下「ファミリーホーム」という。）に委託されている児童、児童養護施設児童心理治療施設、児童自立支援施設及び乳児院に措置されている児童、母子生活支援施設を利用している母子世帯の児童並びにその保護者、児童自立生活援助事業（以下「自立援助ホーム」という。）に入居している児童の実態を明らかにして、要保護児童の福祉増進のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

全国の里親委託児童、児童養護施設の入所児童、児童心理治療施設の入所児童、児童自立支援施設の入所児童、乳児院の入所児童、母子生活支援施設の児童並びに保護者、ファミリーホーム委託児童、自立援助ホームの入居児童、障害児入所施設の入所児童を対象とし、その全員を調査客体とした。

客体：里親委託児童 5,382人

児童養護施設入所児童 27,026人（内、中学3年生以上の年長児童 8,412人）

児童心理治療施設入所児童 1,367人

児童自立支援施設入所児童 1,448人（内、中学3年生以上の年長児童 610人）

乳児院入所児童 3,023人

母子生活支援施設入所世帯 3,216世帯 及び 当該児童 5,308人

ファミリーホーム委託児童 1,513人

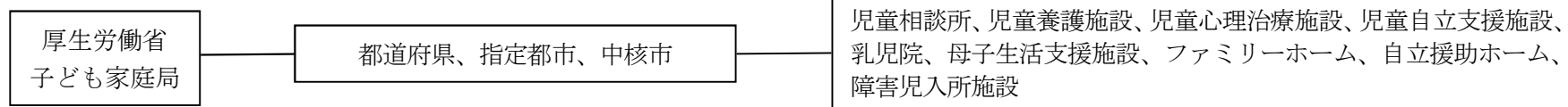
自立援助ホーム入居児童 616人

障害児入所施設入所児童 9,632人

3 調査の時期

平成30年2月1日

4 調査の方法



5 結果の集計

結果の集計は、子ども家庭局において行った。

6 観察上の注意

この調査は、すべて全数調査であり、以下の統計数字は実数値である。

なお、構成割合は四捨五入のため、内容の合計が総数に合わない場合もある。

※ 結果については、前回調査の数字を比較の参考として掲載している。（前回調査日 平成25年2月1日）

なお、障害児入所施設については、今回より調査している。

結果の概要

I 児童の現在の状況

1 児童の現在の年齢（里親、児童養護施設児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

調査日（平成30年2月1日）現在の年齢別児童数は表1のとおりである。児童数は里親が5,382人（前回4,534人）、児童養護施設が27,026人（前回29,979人）、児童心理治療施設が1,367人（前回1,235人）、児童自立支援施設が1,448人（前回1,670人）、乳児院が3,023人（前回3,147人）、母子生活支援施設が5,308人（前回6,006人）、ファミリーホームが1,513人（前回829人）、自立援助ホームが616人（前回376人）であった。また、児童の平均年齢は、里親が10.2歳（前回9.9歳）、児童養護施設が11.5歳（前回11.2歳）、児童心理治療施設が12.9歳（前回12.7歳）、児童自立支援施設が14.0歳（前回14.1歳）、乳児院が1.4歳（前回1.2歳）、母子生活支援施設が7.3歳（前回7.4歳）、ファミリーホームが11.6歳（前回11.2歳）、自立援助ホームが17.7歳（前回17.5歳）であった。

表1 現在の年齢別児童数

	児 童 数								構成割合(%)							
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	母子生活支援施設	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	母子生活支援施設	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	5,382	27,026	1,367	1,448	3,023	5,308	1,513	616	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男	2,701	14,185	1,063	1,185	1,606	2,694	840	318	50.2%	52.5%	77.8%	81.8%	53.1%	50.8%	55.5%	51.6%
女	2,673	12,679	371	481	1,389	2,594	670	290	49.7%	46.9%	27.1%	33.2%	45.9%	48.9%	44.3%	47.1%
0歳	164	-	-	-	662	162	11	-	3.0%	-	-	-	21.9%	3.1%	0.7%	-
1歳	201	9	-	-	1,020	331	15	-	3.7%	0.0%	-	-	33.7%	6.2%	1.0%	-
2歳	218	190	-	-	868	407	27	-	4.1%	0.7%	-	-	28.7%	7.7%	1.8%	-
3歳	273	711	-	-	320	420	36	-	5.1%	2.6%	-	-	10.6%	7.9%	2.4%	-
4歳	279	1,041	1	-	89	443	45	-	5.2%	3.9%	0.1%	-	2.9%	8.3%	3.0%	-
5歳	287	1,281	1	-	31	429	59	-	5.3%	4.7%	0.1%	-	1.0%	8.1%	3.9%	-
6歳	236	1,349	3	-	8	398	68	-	4.4%	5.0%	0.2%	-	0.3%	7.5%	4.5%	-
7歳	249	1,340	27	-	-	375	97	-	4.6%	5.0%	2.0%	-	-	7.1%	6.4%	-
8歳	251	1,427	49	-	-	353	76	-	4.7%	5.3%	3.6%	-	-	6.7%	5.0%	-
9歳	234	1,668	79	8	-	333	68	-	4.3%	6.2%	5.8%	0.6%	-	6.3%	4.5%	-
10歳	265	1,755	110	18	-	297	90	1	4.9%	6.5%	8.0%	1.2%	-	5.6%	5.9%	0.2%
11歳	244	1,892	136	48	-	251	71	-	4.5%	7.0%	9.9%	3.3%	-	4.7%	4.7%	-
12歳	248	1,909	178	126	-	225	102	-	4.6%	7.1%	13.0%	8.7%	-	4.2%	6.7%	-
13歳	289	1,958	165	205	-	200	102	-	5.4%	7.2%	12.1%	14.2%	-	3.8%	6.7%	-
14歳	324	2,225	208	405	-	198	101	-	6.0%	8.2%	15.2%	28.0%	-	3.7%	6.7%	-
15歳	336	2,236	191	479	-	176	129	7	6.2%	8.3%	14.0%	33.1%	-	3.3%	8.5%	1.1%
16歳	382	2,091	74	73	-	129	128	89	7.1%	7.7%	5.4%	5.0%	-	2.4%	8.5%	14.4%
17歳	406	1,999	68	22	-	117	136	124	7.5%	7.4%	5.0%	1.5%	-	2.2%	9.0%	20.1%
18歳	362	1,699	47	12	-	52	106	169	6.7%	6.3%	3.4%	0.8%	-	1.0%	7.0%	27.4%
19歳	114	215	5	2	-	1	38	158	2.1%	0.8%	0.4%	0.1%	-	0.0%	2.5%	25.6%
平均年齢	10.2歳	11.5歳	12.9歳	14.0歳	1.4歳	7.3歳	11.6歳	17.7歳

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。
平均は、不詳を除く。

2 児童の委託（入所）時の年齢（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

児童の委託時または入所時の年齢は、里親、児童養護施設及びファミリーホームでは2歳、児童心理治療施設では12歳、児童自立支援施設では13歳、乳児院では0歳、自立援助ホームでは18歳が最も多くなっている。

また、6歳未満で委託または入所した児童は、乳児院の全部をはじめ、里親で56.7%（前回56.1%）、児童養護施設で50.2%（前回52.9%）、ファミリーホームで33.9%（前回34.6%）となっている。12歳以上で入所した児童は、児童養護施設で15.8%（前回13.9%）、児童心理治療施設で40.5%（前回39.6%）、児童自立支援施設で81.4%（前回88.7%）となっている。

表2 委託時又は入所時の年齢別児童数

	児童数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	5,382	27,026	1,367	1,448	3,023	1513	616	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0歳	593	50	-	-	2,176	65	-	11.0%	0.2%	-	-	72.0%	4.3%	-
1歳	557	633	-	-	508	48	-	10.3%	2.3%	-	-	16.8%	3.2%	-
2歳	780	5,260	-	-	144	117	-	14.5%	19.5%	-	-	4.8%	7.7%	-
3歳	523	3,524	2	-	17	111	-	9.7%	13.0%	0.1%	-	0.6%	7.3%	-
4歳	325	2,253	1	-	4	104	-	6.0%	8.3%	0.1%	-	0.1%	6.9%	-
5歳	273	1,847	8	-	2	68	-	5.1%	6.8%	0.6%	-	0.1%	4.5%	-
6歳	279	1,948	57	-	-	100	-	5.2%	7.2%	4.2%	-	-	6.6%	-
7歳	205	1,576	101	1	-	81	-	3.8%	5.8%	7.4%	0.1%	-	5.4%	-
8歳	169	1,507	136	10	-	95	-	3.1%	5.6%	9.9%	0.7%	-	6.3%	-
9歳	153	1,325	151	16	-	81	-	2.8%	4.9%	11.0%	1.1%	-	5.4%	-
10歳	173	1,290	166	68	-	71	1	3.2%	4.8%	12.1%	4.7%	-	4.7%	0.2%
11歳	155	1,175	166	125	-	87	-	2.9%	4.3%	12.1%	8.6%	-	5.8%	-
12歳	216	1,133	201	217	-	89	-	4.0%	4.2%	14.7%	15.0%	-	5.9%	-
13歳	171	1,029	173	455	-	88	-	3.2%	3.8%	12.7%	31.4%	-	5.8%	-
14歳	174	908	112	371	-	85	-	3.2%	3.4%	8.2%	25.6%	-	5.6%	-
15歳	209	782	47	99	-	90	7	3.9%	2.9%	3.4%	6.8%	-	5.9%	1.1%
16歳	170	272	16	26	-	64	89	3.2%	1.0%	1.2%	1.8%	-	4.2%	14.4%
17歳	100	121	3	10	-	33	124	1.9%	0.4%	0.2%	0.7%	-	2.2%	20.1%
18歳	13	18	2	-	-	5	169	0.2%	0.1%	0.1%	-	-	0.3%	27.4%
19歳	-	1	-	-	-	-	158	-	0.0%	-	-	-	-	25.6%
平均年齢	5.9歳	6.4歳	10.7歳	12.9歳	0.3歳	8.2歳	17.7歳	・	・	・	・	・	・	・

注)総数には、年齢不詳を含む。

平均は、不詳を除く。

3 児童の委託（在所）期間（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

児童の委託期間または在所期間は、「1年未満」が多く、期間が長くなるに従い児童数が漸減する傾向となっている。

また平均委託（在所）期間は、里親4.5年（前回3.9年）、児童養護施設5.2年（前回4.9年）、児童心理治療施設2.2年（前回2.1年）、児童自立支援施設1.1年（前回1.0年）、乳児院1.4年（前回1.2年）、ファミリーホーム3.6年（前回2.9年）、自立援助ホーム1.1年（前回0.9年）となっている。

表3 委託期間又は在所期間別児童数

	児 童 数							構成割合 (%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	5,382	27,026	1,367	1,448	3,023	1,513	616	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1年未満	1,132	3,784	393	725	1,287	330	342	21.0%	14.0%	28.7%	50.1%	42.6%	21.8%	55.5%
1年以上2年未満	822	3,715	406	499	922	251	154	15.3%	13.7%	29.7%	34.5%	30.5%	16.6%	25.0%
2年以上3年未満	585	3,094	220	144	456	221	66	10.9%	11.4%	16.1%	9.9%	15.1%	14.6%	10.7%
3年以上4年未満	468	2,734	141	20	147	171	13	8.7%	10.1%	10.3%	1.4%	4.9%	11.3%	2.1%
4年以上5年未満	348	2,126	80	10	29	147	1	6.5%	7.9%	5.9%	0.7%	1.0%	9.7%	0.2%
5年以上6年未満	313	1,819	39	-	12	88	2	5.8%	6.7%	2.9%	-	0.4%	5.8%	0.3%
6年以上7年未満	327	1,595	28	-	3	81	-	6.1%	5.9%	2.0%	-	0.1%	5.4%	-
7年以上8年未満	243	1,507	20	-	-	74	-	4.5%	5.6%	1.5%	-	-	4.9%	-
8年以上9年未満	198	1,224	8	-	-	45	-	3.7%	4.5%	0.6%	-	-	3.0%	-
9年以上10年未満	155	1,131	4	-	-	7	-	2.9%	4.2%	0.3%	-	-	0.5%	-
10年以上11年未満	149	1,037	3	-	-	16	-	2.8%	3.8%	0.2%	-	-	1.1%	-
11年以上12年未満	99	792	-	-	-	11	-	1.8%	2.9%	-	-	-	0.7%	-
12年以上	405	2,116	-	-	-	43	-	7.5%	7.8%	-	-	-	2.8%	-
平均期間	4.5年	5.2年	2.2年	1.1年	1.4年	3.6年	1.1年	・	・	・	・	・	・	・

注) 総数には、期間不詳を含む。

平均は、不詳を除く。

「ファミリーホーム」委託期間は、ファミリーホーム制度創設以前における里親委託期間を含む。

4 児童の委託（入所）経路（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

児童の委託経路または入所経路をみると、里親では「家庭から」が42.5%（前回47.0%）、「乳児院から」が28.3%（前回26.7%）、「児童養護施設から」が14.7%（前回16.3%）と多い。

児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホームでも「家庭から」が、それぞれ62.1%（前回68.2%）、56.4%（前回76.0%）、57.4%（前回61.0%）、62.2%（前回76.1%）、37.8%（前回42.9%）、43.3%（前回47.1%）と最も多い。

また、児童自立支援施設では、家庭裁判所からの決定によるものが12.5%（前回18.3%）となっている。

表4 委託経路又は入所経路別児童数

	総数	家庭から	乳児院から	児童養護施設から	児童自立支援施設から	他の児童福祉施設から	里親家庭から	家庭裁判所から	ファミリーホームから	医療機関から	単身から	その他から	不詳
里親	5,382 100.0%	2,286 42.5%	1,521 28.3%	792 14.7%	* 77 1.4%	199 3.7%	* 54 1.0%	138 2.6%	* 230 4.3%	85 1.6%			
児童養護施設	27,026 100.0%	16,779 62.1%	6,019 22.3%	1,048 3.9%	* 850 3.1%	619 2.3%	16 0.1%	94 0.3%	97 0.4%	* 1,186 4.4%	318 1.2%		
児童心理治療施設	1,367 100.0%	771 56.4%	-	203 14.9%	* 50 3.7%	24 1.8%	* 10 0.7%	84 6.1%	* 205 15.0%	20 1.5%			
児童自立支援施設	1,448 100.0%	831 57.4%	* 213 14.7%	* 54 3.7%	20 1.4%	181 12.5%	8 0.6%	12 0.8%	* 112 7.7%	17 1.2%			
乳児院	3,023 100.0%	1,880 62.2%	102 3.4%	* * *	* 57 1.9%	* 6 0.2%	761 25.2%	* 200 6.6%	17 0.6%				
ファミリーホーム	1,513 100.0%	572 37.8%	206 13.6%	250 16.5%	* 61 4.0%	192 12.7%	* 32 2.1%	40 2.6%	* 127 8.4%	33 2.2%			
自立援助ホーム	616 100.0%	267 43.3%	* 131 21.3%	30 4.9%	35 5.7%	14 2.3%	* 14 2.3%	11 1.8%	20 3.2%	91 14.8%	3 0.5%		

注) *は、調査項目としていない。

「家庭裁判所から」は、入所前に生活していた場所に関係なく、保護処分により入所したことをいう。

5 児童の就学状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

児童の就学状況をみると、里親及び母子生活支援施設では「就学前」が最も多く、それぞれ30.6%（前回30.3%）、48.1%（前回43.7%）となっており、児童養護施設、児童心理治療施設及び児童自立支援施設では「中学校」が最も多く、それぞれ23.7%（前回23.7%）、47.0%（前回41.4%）、78.2%（前回80.5%）となっている。

また、ファミリーホーム及び自立援助ホームでは「中学卒」が最も多く、それぞれ24.3%（前回24.4%）、77.8%（前回81.9%）となっている。

表5 就学状況別児童数

	総数	就学前 (未就園)	就学前 (保育園等)	就学前 (幼稚園)	小学校 低学年 (1～3)	小学校 高学年 (4～6)	中学校	中学卒				高校卒						不詳	
								高校 (公立)	高校 (私立)	就職	その他	大学・ 短大 (公立)	大学・ 短大 (私立)	特別支 援学校 専攻科	専修・ 各種学 校	職業訓 練校	就職		その他
里親	5,382 100.0%	674 12.5%	584 10.9%	390 7.2%	724 13.5%	763 14.2%	937 17.4%	774 14.4%	342 6.4%	3 0.1%	49 0.9%	13 0.2%	41 0.8%	1 0.0%	40 0.7%	1 0.0%	21 0.4%	12 0.2%	13 0.2%
児童養護施設	27,026 100.0%	1,521 5.6%	212 0.8%	2,777 10.3%	4,378 16.2%	5,534 20.5%	6,413 23.7%	4,353 16.1%	1,192 4.4%	8 0.0%	339 1.3%	23 0.1%	49 0.2%	21 0.1%	65 0.2%	3 0.0%	58 0.2%	25 0.1%	55 0.2%
児童心理治療施設	1,235 100.0%	2 0.2%	-	2 0.2%	150 12.1%	433 35.1%	580 47.0%	140 11.3%	38 3.1%	2 0.2%	15 1.2%	-	1 0.1%	-	-	-	1 -	-	3 -
児童自立支援施設	1,448 100.0%	-	-	-	9 0.6%	189 13.1%	1,133 78.2%	45 3.1%	5 0.3%	3 0.2%	58 4.0%	1 -	-	-	-	-	1 -	1 0.1%	3 -
母子生活支援施設	5,308 100.0%	543 10.2%	1,957 36.9%	52 1.0%	1,061 20.0%	780 14.7%	581 10.9%	193 3.6%	71 1.3%	3 0.1%	33 0.6%	2 0.0%	-	1 0.0%	1 0.0%	-	2 0.0%	2 0.0%	26 0.5%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	77 5.1%	23 1.5%	159 10.5%	248 16.4%	258 17.1%	324 21.4%	264 17.4%	82 5.4%	1 0.1%	21 1.4%	3 0.2%	10 0.7%	2 0.1%	15 1.0%	3 0.2%	11 0.7%	4 0.3%	8 -
自立援助ホーム	616 100.0%	-	-	-	-	-	9 1.5%	155 25.2%	60 9.7%	145 23.5%	119 19.3%	1 0.2%	15 2.4%	-	11 1.8%	2 0.3%	71 11.5%	17 2.8%	11 1.8%

6 児童の心身の状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

児童の心身の状況については、「該当あり」の割合が、里親では24.9%、児童養護施設では36.7%、児童心理治療施設では84.2%、児童自立支援施設では61.8%、乳児院では30.2%、母子生活支援施設では54.1%、ファミリーホームでは46.5%、自立援助ホームでは46.3%となっている。

表6-1 心身の状況別児童数

	総数	該当あり	心身の状況(重複回答)																	
			身体虚弱	肢体不自由	重度心身障害	視覚障害	聴覚障害	言語障害	知的障害	てんかん	外傷後ストレス障害(PTSD)	反応性愛着障害	注意欠陥多動性障害(ADHD)	学習障害(LD)	広汎性発達障害(自閉症スペクトラム)	チック	吃音症	発達性協調運動障害	高次脳機能障害	その他の障害等
里親	5,382 100.0%	1,340 24.9%	57 1.1%	32 0.6%	4 0.1%	17 0.3%	12 0.2%	34 0.6%	462 8.6%	44 0.8%	25 0.5%	132 2.5%	294 5.5%	43 0.8%	360 6.7%	22 0.4%	18 0.3%	16 0.3%	2 0.0%	210 3.9%
児童養護施設	27,026 100.0%	9,914 36.7%	250 0.9%	85 0.3%	7 0.0%	169 0.6%	84 0.3%	179 0.7%	3,682 13.6%	307 1.1%	320 1.2%	1,541 5.7%	2,309 8.5%	458 1.7%	2,381 8.8%	320 1.2%	162 0.6%	101 0.4%	23 0.1%	1,384 5.1%
児童心理治療施設	1,235 100.0%	1,040 84.2%	6 0.5%	1 0.1%	- -	4 0.3%	3 0.2%	- -	155 12.6%	23 1.9%	120 9.7%	361 29.2%	457 37.0%	40 3.2%	587 47.5%	42 3.4%	8 0.6%	10 0.8%	3 0.2%	227 18.4%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	895 61.8%	15 1.0%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.3%	1 0.1%	179 12.4%	12 0.8%	46 3.2%	167 11.5%	435 30.0%	49 3.4%	357 24.7%	16 1.1%	12 0.8%	5 0.3%	3 0.2%	123 8.5%
乳児院	3,023 100.0%	912 30.2%	435 14.4%	62 2.1%	23 0.8%	40 1.3%	25 0.8%	98 3.2%	142 4.7%	36 1.2%	6 0.2%	40 1.3%	12 0.4%	1 0.0%	60 2.0%	4 0.1%	6 0.2%	44 1.5%	5 0.2%	309 10.2%
母子生活支援施設	5,308 100.0%	2,872 54.1%	53 1.0%	11 0.2%	7 0.1%	11 0.2%	7 0.1%	29 0.5%	213 4.0%	23 0.4%	17 0.3%	55 1.0%	144 2.7%	51 1.0%	210 4.0%	33 0.6%	19 0.4%	9 0.2%	- -	170 3.2%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	703 46.5%	45 3.0%	13 0.9%	3 0.2%	5 0.3%	4 0.3%	19 1.3%	239 15.8%	21 1.4%	35 2.3%	136 9.0%	182 12.0%	102 6.7%	196 13.0%	15 1.0%	13 0.9%	16 1.1%	7 0.5%	98 6.5%
自立援助ホーム	616 100.0%	285 46.3%	20 3.2%	2 0.3%	2 0.3%	1 0.2%	3 0.5%	- -	72 11.7%	1 0.2%	30 4.9%	62 10.1%	81 13.1%	14 2.3%	84 13.6%	2 0.3%	2 0.3%	6 1.0%	1 0.2%	47 7.6%

注) *は、調査項目としていない。
総数には、不詳を含む。

表6-2 心身の状況別児童数

	総数	LGBT
里親	5,382 100.0%	4 0.1%
児童養護施設	27,026 100.0%	33 0.1%
児童心理治療施設	1,235 100.0%	1 0.1%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	4 0.3%
乳児院	3,023 100.0%	*
母子生活支援施設	5,308 100.0%	- -
ファミリーホーム	1,513 100.0%	1 0.1%
自立援助ホーム	616 100.0%	8 1.3%

注) * は、調査項目としていない。
総数には、不詳を含む。

7 児童の罹患傾向（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

児童の罹患傾向をみると、「罹患傾向あり」が里親で14.5%（前回14.1%）、児童養護施設で18.6%（前回20.8%）、児童心理治療施設で10.1%（前回18.1%）、児童自立支援施設で16.6%（前回18.3%）、乳児院で59.8%（前回65.3%）、母子生活支援施設で27.4%（前回34.2%）、ファミリーホームで26.6%（前回29.8%）、自立援助ホームで29.9%（前回30.6%）となっている。

表7 罹患傾向別児童数

	総数	罹患傾向あり	罹患状況内訳(重複回答)					
			ひきつけたことがある	下痢をしやすい	よく熱をだす	風邪をひきやすい	湿疹が出やすい	その他
里親	5,382 100.0%	782 14.5%	60 1.1%	34 0.6%	74 1.4%	235 4.4%	167 3.1%	332 6.2%
児童養護施設	27,026 100.0%	5,037 18.6%	275 1.0%	380 1.4%	516 1.9%	1,423 5.3%	1,201 4.4%	2,013 7.4%
児童心理治療施設	1,235 100.0%	125 10.1%	13 1.1%	28 2.3%	20 1.6%	46 3.7%	78 6.3%	117 9.5%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	240 16.6%	7 0.5%	29 2.0%	18 1.2%	36 2.5%	53 3.7%	127 8.8%
乳児院	3,023 100.0%	1,808 59.8%	180 6.0%	139 4.6%	437 14.5%	983 32.5%	554 18.3%	441 14.6%
母子生活支援施設	5,308 100.0%	1,453 27.4%	119 2.2%	123 2.3%	306 5.8%	710 13.4%	203 3.8%	440 8.3%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	403 26.6%	22 1.5%	42 2.8%	47 3.1%	156 10.3%	93 6.1%	152 10.0%
自立援助ホーム	616 100.0%	184 29.9%	1 0.2%	28 4.5%	24 3.9%	78 12.7%	38 6.2%	63 10.2%

注)総数には、不詳を含む。

8 特に指導上留意している点（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

「精神的・情緒的な安定」を留意点としてあげているのは共通している傾向であるが、そのほか里親では「里親との関係」、児童養護施設では「家族との関係」、児童心理治療施設では「家族との関係」、「心理的対応」、「友人との関係」、児童自立支援施設では「家族との関係」、母子生活支援施設では「家族との関係」、ファミリーホームでは「基本的な生活習慣」、自立援助ホームでは「就職及び職業の安定」などの回答が多くなっている。

表8 特に支援上留意している点別児童数

	総数	特に留意している点あり	留意点(重複回答)																			
			精神的・情緒的な安定	友人との関係	職員(里親・養育者)との関係	家族との関係	学習への興味・関心	思いやり	基本的な生活習慣	将来設計	男女交際	自主性・積極性	自己表現力	文化的背景	経済観念	医療的対応	心理的対応	社会規範	就職及び就業の安定	行動上の問題	発達支援	その他
里親	5,382 100.0%	4,492 83.5%	2,200 40.9%	845 15.7%	2,084 38.7%	1,379 25.6%	970 18.0%	465 8.6%	1,380 25.6%	851 15.8%	154 2.9%	390 7.2%	489 9.1%	37 0.7%	289 5.4%	359 6.7%	328 6.1%	350 6.5%	313 5.8%	543 10.1%	687 12.8%	65 1.2%
児童養護施設	27,026 100.0%	26,375 97.6%	16,262 60.2%	11,257 41.7%	9,887 36.6%	16,945 62.7%	9,451 35.0%	7,397 27.4%	12,933 47.9%	5,572 20.6%	3,019 11.2%	5,275 19.5%	9,872 36.5%	344 1.3%	3,234 12.0%	3,289 12.2%	6,087 22.5%	4,752 17.6%	1,850 6.8%	5,611 20.8%	4,186 15.5%	180 0.7%
児童心理治療施設	1,235 100.0%	1,232 99.8%	989 80.1%	868 70.3%	769 62.3%	954 77.2%	400 32.4%	247 20.0%	592 47.9%	233 18.9%	163 13.2%	289 23.4%	658 53.3%	58 4.7%	84 6.8%	493 39.9%	883 71.5%	417 33.8%	89 7.2%	686 55.5%	369 29.9%	5 0.4%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	1,445 99.8%	935 64.6%	855 59.0%	741 51.2%	1,001 69.1%	421 29.1%	369 25.5%	606 41.9%	267 18.4%	249 17.2%	310 21.4%	550 38.0%	44 3.0%	72 5.0%	343 23.7%	409 28.2%	747 51.6%	70 4.8%	688 47.5%	176 12.2%	15 1.0%
母子生活支援施設	5,308 100.0%	4,614 86.9%	2,511 47.3%	1,767 33.3%	1,161 21.9%	2,819 53.1%	1,479 27.9%	894 16.8%	1,787 33.7%	349 6.6%	131 2.5%	657 12.4%	1,141 21.5%	113 2.1%	165 3.1%	295 5.6%	818 15.4%	451 8.5%	67 1.3%	668 12.6%	794 15.0%	66 1.2%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	1,442 95.3%	869 57.4%	562 37.1%	497 32.8%	587 38.8%	629 41.6%	504 33.3%	916 60.5%	481 31.8%	203 13.4%	397 26.2%	459 30.3%	54 3.6%	322 21.3%	226 14.9%	301 19.9%	370 24.5%	133 8.8%	365 24.1%	307 20.3%	19 1.3%
自立援助ホーム	616 100.0%	607 98.5%	352 57.1%	194 31.5%	208 33.8%	253 41.1%	114 18.5%	89 14.4%	289 46.9%	312 50.6%	183 29.7%	142 23.1%	166 26.9%	30 4.9%	292 47.4%	98 15.9%	140 22.7%	186 30.2%	371 60.2%	151 24.5%	55 8.9%	9 1.5%

9 学業の状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム）

学業の状況については、里親、児童養護施設及びファミリーホームでは「特に問題なし」が最も高く、その割合はそれぞれ63.1%（前回47.1%）、56.4%（前回48.9%）、48.7%（前回41.7%）となっているが、児童心理治療施設は「遅れがある」が最も高く、その割合は57.4%（前回51.5%）、となっている。

表9 学業の状況別児童数

	総数	すぐれている	特に問題なし	遅れがある	不詳
里親	3,960 100.0%	302 7.6%	2,498 63.1%	906 22.9%	254 6.4%
児童養護施設	22,516 100.0%	1,527 6.8%	12,688 56.4%	8,226 36.5%	75 0.3%
児童心理治療施設	1,363 100.0%	51 3.7%	529 38.8%	783 57.4%	- -
児童自立支援施設	1,448 100.0%	62 4.3%	736 50.8%	644 44.5%	6 0.4%
母子生活支援施設	2,756 100.0%	133 4.8%	1,602 58.1%	979 35.5%	42 1.5%
ファミリーホーム	1,320 100.0%	106 8.0%	643 48.7%	496 37.6%	75 5.7%

注)就学前は、調査対象外。

10 通学状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム）

通学状況については、「普通に通学」が最も多く、その割合は、里親では76.8%（前回65.0%）、児童養護施設では93.4%（前回77.1%）、母子生活支援施設では84.4%（前回46.1%）、児童心理治療施設では89.1%（前回91.9%）、ファミリーホームでは87.1%（前回73.5%）となっている。

表10 通学状況別児童数

	総数	普通に通学	欠席しがち	不詳
里親	4,534 100.0%	3,481 76.8%	219 4.8%	260 5.7%
児童養護施設	22,516 100.0%	21,039 93.4%	1,374 6.1%	103 0.5%
児童心理治療施設	1,363 100.0%	1,215 89.1%	146 10.7%	2 0.1%
母子生活支援施設	2,756 100.0%	2,325 84.4%	355 12.9%	76 2.8%
ファミリーホーム	1,323 100.0%	1,152 87.1%	92 7.0%	79 6.0%

注)就学前は、調査対象外。

II 委託（入所）時の家庭の状況

1 養護問題発生理由（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

養護問題発生理由について、一般的に「虐待」とされる「放任・怠だ」「虐待・酷使」「棄児」「養育拒否」を合計すると、里親は全体の39.3%（前回37.4%）、児童養護施設は45.2%（前回37.9%）、児童心理治療施設は39.6%（前回50.0%）、児童自立支援施設は19.4%（前回41.7%）、乳児院は32.6%（前回27.1%）、ファミリーホームは43.4%（前回38.4%）、自立援助ホームは45.5%（前回35.6%）となっている。

表11 養護問題発生理由別児童数(主な理由)

	児童数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	5,382	27,026	1,367	1,448	3,023	1513	616	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
父の死亡	126	142	1	5	3	14	10	2.3%	0.5%	0.1%	0.3%	0.1%	0.9%	1.6%
母の死亡	583	542	11	6	14	45	12	10.8%	2.0%	0.8%	0.4%	0.5%	3.0%	1.9%
父の行方不明	86	60	1	2	1	12	2	1.6%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.8%	0.3%
母の行方不明	362	701	8	5	40	51	9	6.7%	2.6%	0.6%	0.3%	1.3%	3.4%	1.5%
父母の離婚	74	541	2	25	43	52	13	1.4%	2.0%	0.1%	1.7%	1.4%	3.4%	2.1%
両親の未婚	*	*	*	*	84	*	*	*	*	*	*	2.8%	*	*
父母の不和	36	240	4	6	65	17	3	0.7%	0.9%	0.3%	0.4%	2.2%	1.1%	0.5%
父の拘禁	25	284	6	2	10	6	2	0.5%	1.1%	0.4%	0.1%	0.3%	0.4%	0.3%
母の拘禁	136	993	9	5	111	53	9	2.5%	3.7%	0.7%	0.3%	3.7%	3.5%	1.5%
父の入院	30	104	1	2	2	4	-	0.6%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	-
母の入院	93	620	7	1	80	30	4	1.7%	2.3%	0.5%	0.1%	2.6%	2.0%	0.6%
家族の疾病の付き添い	9	29	0	0	6	-	2	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	-	0.3%
次子出産	13	60	0	0	7	3	1	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%
父の就労	50	579	3	0	24	19	2	0.9%	2.1%	0.2%	0.0%	0.8%	1.3%	0.3%
母の就労	78	592	2	5	87	30	2	1.4%	2.2%	0.1%	0.3%	2.9%	2.0%	0.3%
父の精神疾患等	27	208	4	2	6	6	2	0.5%	0.8%	0.3%	0.1%	0.2%	0.4%	0.3%
母の精神疾患等	675	4001	94	42	702	211	46	12.5%	14.8%	6.9%	2.9%	23.2%	13.9%	7.5%
父の放任・怠だ	68	544	6	21	30	24	10	1.3%	2.0%	0.4%	1.5%	1.0%	1.6%	1.6%
母の放任・怠だ	642	4045	112	72	474	184	44	11.9%	15.0%	8.2%	5.0%	15.7%	12.2%	7.1%
父の虐待・酷使	212	2,542	147	86	121	112	89	3.9%	9.4%	10.8%	5.9%	4.0%	7.4%	14.4%
母の虐待・酷使	291	3,538	228	57	188	113	76	5.4%	13.1%	16.7%	3.9%	6.2%	7.5%	12.3%
棄児	74	86	2	4	9	19	3	1.4%	0.3%	0.1%	0.3%	0.3%	1.3%	0.5%
養育拒否	826	1455	46	41	162	205	58	15.3%	5.4%	3.4%	2.8%	5.4%	13.5%	9.4%
破産等の経済的理由	341	1,318	9	2	200	43	8	6.3%	4.9%	0.7%	0.1%	6.6%	2.8%	1.3%
児童の問題による監護困難	64	1,061	527	988	4	78	136	1.2%	3.9%	38.6%	68.2%	0.1%	5.2%	22.1%
児童の障害	12	97	39	19	35	18	13	0.2%	0.4%	2.9%	1.3%	1.2%	1.2%	2.1%
その他	407	2,480	82	42	501	143	46	7.6%	9.2%	6.0%	2.9%	16.6%	9.5%	7.5%
不詳	42	164	16	8	14	21	14	0.8%	0.6%	1.2%	0.6%	0.5%	1.4%	2.3%

注) *は、調査項目としていない。

2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

「虐待経験あり」の割合をみると、里親で38.4%（前回31.1%）、児童養護施設で65.6%（前回59.5%）、児童心理治療施設で78.1%（前回71.2%）、児童自立支援施設で64.5%（前回58.5%）、乳児院で40.9%（前回35.5%）、母子生活支援施設で57.7%（前回50.1%）、ファミリーホーム53.0%（前回55.4%）、自立援助ホーム71.6%（前回65.7%）となっている。

また、里親、児童養護施設、乳児院及びファミリーホームではネグレクトが最も多く、その割合は65.8%（前回68.5%）、63.0%（前回63.7%）、66.1%（前回73.9%）、62.3%（前回63.6%）である。児童心理治療施設及び児童自立支援施設では身体的虐待が最も多く、その割合は66.9%（前回64.7%）、64.7%（前回60.5%）である。母子生活支援施設及び自立援助ホームでは心理的虐待が最も多く、その割合は80.9%（前回78.0%）、55.1%（前回38.9%）である。

表12 被虐待経験の有無及び虐待の種類

	総数	虐待経験あり	虐待経験の種類（複数回答）				虐待経験なし	不明
			身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待		
里親	5,382 100.0%	2,069 38.4%	629 30.4%	62 3.0%	1,361 65.8%	390 18.8%	3,028 56.3%	265 4.9%
児童養護施設	27,026 100.0%	17,716 65.6%	7,274 41.1%	796 4.5%	11,169 63.0%	4,753 26.8%	8,123 30.1%	1,069 4.0%
児童心理治療施設	1,367 100.0%	1,068 78.1%	714 66.9%	96 9.0%	516 48.3%	505 47.3%	249 18.2%	46 3.4%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	934 64.5%	604 64.7%	55 5.9%	465 49.8%	330 35.3%	436 30.1%	72 5.0%
乳児院	3,023 100.0%	1,235 40.9%	357 28.9%	2 0.2%	816 66.1%	202 16.4%	1,751 57.9%	32 1.1%
母子生活支援施設	5,308 100.0%	3,062 57.7%	937 30.6%	124 4.0%	588 19.2%	2,477 80.9%	2,019 38.0%	201 3.8%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	802 53.0%	365 45.5%	60 7.5%	500 62.3%	289 36.0%	576 38.1%	123 8.1%
自立援助ホーム	616 100.0%	441 71.6%	238 54.0%	48 10.9%	241 54.6%	243 55.1%	125 20.3%	48 7.8%

注)総数には、不詳を含む。

3 委託（入所）時の保護者の状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

委託（入所）時に「両親又は一人親あり」の割合をみると、里親で78.4%（前回52.2%）、児童養護施設で93.3%（前回81.7%）、児童心理治療施設で92.8%（前回88.0%）、児童自立支援施設で93.1%（前回86.5%）、乳児院で97.9%（前回96.6%）、ファミリーホームで83.8%（前回67.3%）、自立援助ホームで91.7%（前回71.5%）となっており、里親で最も低くなっている。

表13-1 委託（入所）時の保護者の状況別児童数

	総数	両親又は一人親	両親ともいない	両親とも不明	不詳
里親	5,382 100.0%	4,222 78.4%	919 17.1%	222 4.1%	19 0.4%
児童養護施設	27,026 100.0%	25,223 93.3%	1,384 5.1%	359 1.3%	60 0.2%
児童心理治療施設	1,367 100.0%	1,268 92.8%	79 5.8%	16 1.2%	4 0.3%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	1,348 93.1%	78 5.4%	17 1.2%	5 0.3%
乳児院	3,023 100.0%	2,959 97.9%	53 1.8%	8 0.3%	3 0.1%
ファミリーホーム	840 100.0%	704 83.8%	83 9.9%	42 5.0%	11 1.3%
自立援助ホーム	616 100.0%	565 91.7%	39 6.3%	10 1.6%	2 0.3%

「両親又は一人親あり」の児童についてみると、最も割合の多い保護者は、里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム及び自立援助ホームが「実母のみ」でそれぞれ62.8%（前回59.0%）、48.5%（前回45.4%）、47.4%（前回42.3%）、48.7%（前回46.7%）、50.7%（前回50.0%）、40.7%（前回34.2%）であり、乳児院が「実父母有」で52.8%（前回52.9%）となっている。

表13-2 両親又は一人親ありの保護者の状況別児童数

	総数	実父母有	実父のみ	実母のみ	実父養母	養父実母	養父養母	養父のみ	養母のみ	不詳
里親	4,222 100.0%	851 20.2%	398 9.4%	2,651 62.8%	59 1.4%	228 5.4%	4 0.1%	18 0.4%	5 0.1%	8 0.2%
児童養護施設	25,223 100.0%	6,636 26.3%	2,777 11.0%	12,227 48.5%	606 2.4%	2,624 10.4%	54 0.2%	89 0.4%	75 0.3%	135 0.5%
児童心理治療施設	1,268 100.0%	276 21.8%	109 8.6%	601 47.4%	41 3.2%	219 17.3%	6 0.5%	9 0.7%	7 0.6%	- -
児童自立支援施設	1,348 100.0%	325 24.1%	132 9.8%	656 48.7%	38 2.8%	178 13.2%	4 0.3%	6 0.4%	7 0.5%	2 0.1%
乳児院	2,959 100.0%	1,561 52.8%	79 2.7%	1,240 41.9%	- -	75 2.5%	3 0.1%	- -	- -	1 0.0%
ファミリーホーム	704 100.0%	180 25.6%	68 9.7%	357 50.7%	18 2.6%	75 10.7%	3 0.4%	- -	2 0.3%	1 0.1%
自立援助ホーム	565 100.0%	130 23.0%	70 12.4%	230 40.7%	26 4.6%	105 18.6%	1 0.2%	2 0.4%	- -	1 0.2%

注)横軸は、保護者の状況。

「両親ともいない・不明」の児童についてみると、祖父母が養育を行っている割合が高い。

表13-3 両親ともいない・不明の保護者の状況別児童数

	総数	祖父母	養父母の親	兄・姉	義兄義姉	伯(叔)父母	義伯(叔)父母	里親	その他	なし	不明	不詳
里親	1,141 100.0%	549 48.1%	1 0.1%	36 3.2%	2 0.2%	132 11.6%	3 0.3%	35 3.1%	196 17.2%	77 6.7%	62 5.4%	48 4.2%
児童養護施設	1,743 100.0%	539 30.9%	8 0.5%	101 5.8%	14 0.8%	157 9.0%	11 0.6%	85 4.9%	557 32.0%	85 4.9%	81 4.6%	105 6.0%
児童心理治療施設	95 100.0%	45 47.4%	- -	4 4.2%	1 1.1%	13 13.7%	1 1.1%	5 5.3%	11 11.6%	9 9.5%	4 4.2%	2 2.1%
児童自立支援施設	95 100.0%	23 24.2%	1 1.1%	3 3.2%	- -	7 7.4%	- -	5 5.3%	44 46.3%	4 4.2%	5 5.3%	3 3.2%
乳児院	61 100.0%	19 31.1%	- -	- -	- -	1 1.6%	- -	3 4.9%	21 34.4%	9 14.8%	4 6.6%	4 6.6%
ファミリーホーム	125 100.0%	33 26.4%	- -	3 2.4%	2 1.6%	4 3.2%	1 0.8%	19 15.2%	23 18.4%	10 8.0%	25 20.0%	5 4.0%
自立援助ホーム	49 100.0%	11 22.4%	1 2.0%	6 12.2%	1 2.0%	10 20.4%	2 4.1%	- -	1 2.0%	7 14.3%	4 8.2%	6 12.2%

注)横軸は、保護者の状況。

Ⅲ 家族との関係（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

1 家族との交流関係

家族との交流関係について「交流なし」の割合は、里親で70.3%（前回72.4%）、児童養護施設で19.9%（前回18.0%）、児童心理治療施設で15.9%（前回14.8%）、児童自立支援施設で13.7%（前回10.8%）、乳児院で21.5%（前回19.4%）、ファミリーホームで36.9%（前回40.5%）、自立援助ホームで47.4%（前回41.2%）となっており、特に、里親で「交流なし」が高くなっている。

施設入所児童では「交流あり」のうち「一時帰宅」の割合が比較的高く、児童養護施設で33.8%（前回45.9%）、児童心理治療施設で39.4%（前回55.4%）、児童自立支援施設で34.0%（前回49.8%）となっているが、乳児院では「面会」の割合が多く、55.3%（前回54.1%）となっている。

表14-1 家族との交流関係別児童数

	総数	交流あり			交流なし	不詳
		電話・メール・手紙	面会	一時帰宅		
里親	5,382 100.0%	227 4.2%	925 17.2%	359 6.7%	3,782 70.3%	89 1.7%
児童養護施設	27,026 100.0%	2,438 9.0%	7,772 28.8%	9,126 33.8%	5,391 19.9%	2,299 8.5%
児童心理治療施設	1,367 100.0%	76 5.6%	449 32.8%	538 39.4%	218 15.9%	86 6.3%
児童自立支援施設	1,448 100.0%	93 6.4%	452 31.2%	493 34.0%	199 13.7%	211 14.6%
乳児院	3,023 100.0%	102 3.4%	1,672 55.3%	425 14.1%	651 21.5%	173 5.7%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	128 8.5%	435 28.8%	258 17.1%	559 36.9%	133 8.8%
自立援助ホーム	616 100.0%	143 23.2%	72 11.7%	56 9.1%	292 47.4%	53 8.6%

次に家族との交流頻度であるが、「電話・メール・手紙」において「年2回～11回」が高く、里親で52.0%（前回53.9%）、児童養護施設で58.7%（前回61.6%）、児童心理治療施設で60.5%（前回54.7%）、児童自立支援施設で51.6%（前回59.5%）、乳児院で56.9%（前回48.4%）、ファミリーホームで53.1%（前回61.1%）、自立援助ホームで48.3%（前回59.6%）であった。

また、「面会」において「月1回以上」が高かったのは乳児院で57.4%（前回51.7%）であった。「年2回～11回」が高かったのは、里親60.4%（前回59.7%）、児童養護施設64.3%（前回68.0%）、児童心理治療施設66.4%（前回61.0%）、児童自立支援施設54.6%（前回64.3%）、ファミリーホーム60.9%（前回59.6%）、自立援助ホーム56.9%（前回60.0%）であった。

さらに、「一時帰宅」において「月1回以上」が高かったのは乳児院で81.4%（前回71.1%）であった。「年2回～11回」が高かったのは、里親49.6%（前回56.5%）、児童養護施設65.2%（前回71.9%）、児童心理治療施設55.0%（前回48.1%）、児童自立支援施設60.9%（前回78.2%）、ファミリーホーム50.0%（前回63.4%）、自立援助ホーム60.7%（前回51.3%）であった。

表14-2 家族との交流頻度別児童数

	児 童 数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
【電話・メール・手紙】														
総数	227	2,438	76	93	102	128	143	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
月1回以上	37	487	14	31	30	18	55	16.3%	20.0%	18.4%	33.3%	29.4%	14.1%	38.5%
年2回～11回	118	1,431	46	48	58	68	69	52.0%	58.7%	60.5%	51.6%	56.9%	53.1%	48.3%
年1回ぐらい	71	501	16	11	13	42	18	31.3%	20.5%	21.1%	11.8%	12.7%	32.8%	12.6%
不詳	1	19	-	3	1	-	1	0.4%	0.8%	-	3.2%	1.0%	-	0.7%
【面会】														
総数	925	7,772	449	452	1,672	435	72	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
月1回以上	175	1,833	101	178	960	92	19	18.9%	23.6%	22.5%	39.4%	57.4%	21.1%	26.4%
年2回～11回	559	5,000	298	247	608	265	41	60.4%	64.3%	66.4%	54.6%	36.4%	60.9%	56.9%
年1回ぐらい	189	930	49	27	97	78	11	20.4%	12.0%	10.9%	6.0%	5.8%	17.9%	15.3%
不詳	2	9	1	-	7	-	1	0.2%	0.1%	0.2%	-	0.4%	-	1.4%
【一時帰宅】														
総数	359	9,126	538	493	425	258	56	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
月1回以上	159	2,769	224	175	346	110	18	44.3%	30.3%	41.6%	35.5%	81.4%	42.6%	32.1%
年2回～11回	178	5,949	296	300	77	129	34	49.6%	65.2%	55.0%	60.9%	18.1%	50.0%	60.7%
年1回ぐらい	18	395	18	18	2	19	4	5.0%	4.3%	3.3%	3.7%	0.5%	7.4%	7.1%
不詳	4	13	-	-	-	-	-	1.1%	0.1%	-	-	-	-	-

2 児童の今後の見通し

児童の今後の見通しについては、里親では「自立まで現在の里親家庭で養育」が68.7%（前回68.5%）に対し、「保護者のもとへ復帰」は10.2%（前回10.7%）にすぎない。児童養護施設では「自立まで現在の児童養護施設で養育」が58.3%（前回55.1%）、児童心理治療施設では「保護者のもとへ復帰」が37.2%（前回44.3%）、児童自立支援施設では「保護者のもとへ復帰」が56.9%（前回59.7%）、ファミリーホームでは「自立まで現在のファミリーホームで養育」が68.7%（前回70.0%）、自立援助ホームでは「自立まで現在の自立援助ホームで養育」が79.4%（前回80.6%）が最も高くなっている。

また、乳児院では「現在の乳児院で養育」が35.5%（前回42.1%）と最も高くなっている。

表15-1 児童の今後の見通し別児童数(乳児院を除く)

	総数	保護者のもとへ 復帰	親類等の家庭 への引き取り	自立まで現在の ままで養育	養子縁組	里親・ ファミリーホーム委託	他施設へ移行 予定	現在のままでは 養育困難	その他	不詳
里親	5,382 100.0%	549 10.2%	34 0.6%	3,696 68.7%	654 12.2%	4 0.1%	74 1.4%	108 2.0%	225 4.2%	38 0.7%
児童養護 施設	27,026 100.0%	7,490 27.7%	311 1.2%	15,748 58.3%	48 0.2%	439 1.6%	547 2.0%	1,023 3.8%	1,221 4.5%	199 0.7%
児童心理 治療施設	1,367 100.0%	509 37.2%	20 1.5%	294 21.5%	- -	25 1.8%	352 25.7%	43 3.1%	113 8.3%	11 0.8%
児童自立 支援施設	1,448 100.0%	824 56.9%	27 1.9%	65 4.5%	- -	40 2.8%	327 22.6%	43 3.0%	107 7.4%	15 1.0%
ファミリーホーム	1,513 100.0%	279 18.4%	16 1.1%	1,040 68.7%	20 1.3%	3 0.2%	25 1.7%	21 1.4%	82 5.4%	27 1.8%
自立援助 ホーム	616 100.0%	30 4.9%	3 0.5%	489 79.4%	1 0.2%	32 5.2%	19 3.1%	37 6.0%	- -	5 0.8%

表15-2 児童の今後の見通し別児童数(乳児院)

	総数	保護者の もとへ復帰	親類等の家 庭への引き 取り	現在の乳児 院で養育	児童養護 施設へ	母子生活 支援施設へ	養子縁組	里親・ファミ ーホーム委託	障害児入所 施設へ移行 予定	他施設へ 移行予定	その他	不詳
乳児院	3,023 100.0%	761 25.2%	35 1.2%	1,073 35.5%	564 18.7%	10 0.3%	92 3.0%	272 9.0%	56 1.9%	30 1.0%	113 3.7%	17 0.6%

IV 里親家庭の状況

1 里親申込みの動機

調査日（平成30年2月1日）現在で、現に委託されている里親家庭の総数は4,216世帯となっており、前回調査の3,481世帯より735世帯（21.1%）増加している。里親申込みの動機別をみると「児童福祉への理解から」が41.7%（前回43.5%）、「子どもを育てたいから」が30.8%（前回30.7%）、「養子を得たいため」が10.7%（前回12.5%）となっている。

表16 里親申込みの動機別里親家庭数

総数	児童福祉への理解から	子どもを育てたいから	養子を得たいため	その他	不詳
4,216	1,759	1,299	453	617	88
100.0%	41.7%	30.8%	10.7%	14.6%	2.1%

2 登録期間

児童が委託されている里親家庭の登録期間は、「5年未満」が43.8%（前回43.6%）と最も多く、登録期間が長くなるに従い少なくなっている。

表17 登録期間別里親家庭数

総数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年以上	不詳
4,216	1,845	1,224	611	531	5
100.0%	43.8%	29.0%	14.5%	12.6%	0.1%

3 委託児童数

委託児童数は、「1人」が76.1%（前回74.3%）と最も多く、次いで「2人」が18.7%（前回19.1%）となっている。

表18 委託児童別里親家庭数

総数	1人	2人	3人	4人	不詳
4,216	3,208	789	166	42	11
100.0%	76.1%	18.7%	3.9%	1.0%	0.3%

4 里親の年齢

里父の年齢は「60歳以上」が31.9%（前回31.4%）、「50歳代」が27.0%（前回30.7%）、里母の年齢は「60歳以上」が29.7%（前回27.8%）、「50歳代」が32.6%（前回33.1%）となっている。

表19 里親の年齢別里親家庭数

	総数	里親の年齢						いない	不詳
		30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳		
里父	4,216 100.0%	11 0.3%	203 4.8%	964 22.9%	1,140 27.0%	1,345 31.9%	10 0.2%	528 12.5%	15 0.4%
里母	4,216 100.0%	28 0.7%	251 6.0%	1,207 28.6%	1,374 32.6%	1,251 29.7%	10 0.2%	82 1.9%	13 0.3%

5 里親の仕事の種類

里父の仕事の種類は「専門・技術」が16.0%と最も多く、里母は「就業していない」が44.5%となっている。

表20 仕事の種類別里親家庭数

	総数	里親の仕事の種類													いない
		社会福祉 事業 従事者	宗教家	教員	専門・ 技術	管理	事務	販売	農林・ 漁業	単純労働	サービス	その他の 就業者	就業して いない	不詳	
里父	4,216 100.0%	178 4.2%	448 10.6%	110 2.6%	675 16.0%	223 5.3%	341 8.1%	178 4.2%	121 2.9%	236 5.6%	288 6.8%	467 11.1%	399 9.5%	24 0.6%	528 12.5%
里母	4,216 100.0%	297 7.0%	280 6.6%	75 1.8%	256 6.1%	39 0.9%	257 6.1%	107 2.5%	67 1.6%	37 0.9%	274 6.5%	540 12.8%	1,876 44.5%	29 0.7%	82 1.9%

6 里親家庭の年間所得

平成29年年間所得（税込）は、里親家庭の平均が594万4千円、一般家庭が551万6千円となっている。

表21 年間所得(税込)

	平均所得金額
里親家庭	594.4万円
一般家庭	551.6万円

注)一般家庭は「平成30年国民生活基礎調査」

7 里親家庭の住宅所有状況

里親家庭の住宅所有状況は、「自家・一戸建て」が72.0%（前回72.8%）と多くを占めており、次いで「借家・集合住宅」が10.4%（前回7.8%）、「自家・集合住宅」が9.2%（前回7.4%）、「借家・一戸建て」が6.0%（前回5.4%）となっている。

表22 住宅の所有状況別里親家庭数

総数	自家		借家		その他	不明	不詳
	一戸建て	集合住宅	一戸建て	集合住宅			
4,216	3,034	389	254	438	52	1	48
100.0%	72.0%	9.2%	6.0%	10.4%	1.2%	0.0%	1.1%

V 母子生活支援施設入所世帯（母親）の状況

1 児童数

調査日（平成30年2月1日）現在における母子生活支援施設入所世帯数は3,216世帯となっており、前回調査の3,725世帯より509世帯（13.7%）減少している。母子生活支援施設入所世帯を児童数別にみると、「1人」が56.0%（前回56.8%）と最も多く、次いで「2人」が29.0%（前回29.8%）となっている。

表23 児童数別母子生活支援施設入所世帯数

総数	1人	2人	3人	4人	5人以上	不詳
3,216	1,800	933	328	116	37	2
100.0%	56.0%	29.0%	10.2%	3.6%	1.2%	0.1%

2 入所理由及び在所期間

(1) 入所理由

母子生活支援施設への入所理由は、「配偶者からの暴力」が50.7%（前回45.7%）で最も多く、次いで「経済的理由による」が12.8%（前回18.7%）、「住宅事情による」が16.4%（前回15.9%）となっている。

表24 入所理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	母親の心身の不安定による	職業上の理由による	住宅事情による	経済的理由による	配偶者からの暴力	不適切な家庭内環境	その他	不詳
3,216	121	2	529	413	1,631	286	165	69
100.0%	3.8%	0.1%	16.4%	12.8%	50.7%	8.9%	5.1%	2.1%

(2) 在所期間

母子生活支援施設へ入所してからの期間は、「5年未満」が87.1%（前回85.7%）と大部分を占め、「5年未満」の中でも「1年未満」が33.1%（前回37.9%）、「1年」が23.9%（前回21.9%）となっている。

表25 在所期間別母子生活支援施設入所世帯数

総数	5年未満	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年～9年	10年以上	不詳
3,216	2,802	1,063	770	492	289	188	315	85	14
100.0%	87.1%	33.1%	23.9%	15.3%	9.0%	5.8%	9.8%	2.6%	0.4%

3 入所時の年齢

母子生活支援施設入所世帯の入所時の母親の年齢は、30歳代が44.2%（前回43.7%）と最も多く、次いで20歳代が29.5%（前回21.9%）、40歳代が21.2%（前回28.5%）となっている。

表26 入所時の年齢別母子生活支援施設入所世帯数

総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	不明
3,216	69	387	563	738	684	478	203	73	21
100.0%	2.1%	12.0%	17.5%	22.9%	21.3%	14.9%	6.3%	2.3%	0.7%

4 母子世帯になった理由

母子世帯になった理由は、「離婚」が56.9%（前回58.3%）と最も多く、次いで「未婚の母」が16.0%（前回14.5%）となっている。

表27 母子世帯になった理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	死別			離婚	遺棄	生死不明	未婚の母	その他	不詳
	病死	交通事故死	その他						
3,216	17	1	10	1,831	82	-	516	729	30
100.0%	0.5%	0.0%	0.3%	56.9%	2.5%	-	16.0%	22.7%	0.9%

5 公営住宅入居希望の有無及び現在の状況

(1) 公営住宅入居希望

公営住宅入居希望は、母子生活支援施設入所世帯の41.7%（前回51.8%）となっている。

表28 公営住宅入居希望の有無別母子生活支援施設入所世帯数

総数	あり	なし	わからない	不詳
3,216	1,342	833	1,035	6
100.0%	41.7%	25.9%	32.2%	0.2%

(2) 現在の状況

現在の状況は、「1年以内に退所の見込み」が17.4%（前回16.1%）、「適当な住居さえあれば退所できる」が14.9%（前回17.0%）、「3か月以内に退所の見込み」が11.5%（前回12.7%）、「末子が18歳になるまで退所困難」が10.2%（前回9.3%）となっている。

表29 現在の状況別母子生活支援施設入所世帯数

総数	3か月以内に退所の見込み	1年以内に退所の見込み	適当な住宅さえあれば退所できる	末子が18歳になるまで退所困難	その他	不詳
3,216	370	560	479	329	1,461	17
100.0%	11.5%	17.4%	14.9%	10.2%	45.4%	0.5%

7 従業上の地位及び仕事の種類

(1) 従業上の地位

母子生活支援施設の入所世帯の母親の67.0%（前回66.1%）は就業している。就業している母親では、「臨時・日雇・パート」が46.0%（前回50.3%）と最も多く、「常用勤労者」が16.5%（前回13.6%）となっている。また「不就業」については、32.2%（前回33.5%）となっている。

表30-1 従業上の地位別母子生活支援施設入所世帯数

総数	事業主	常用勤労者	臨時・日雇・パート	その他の就業	不就業	不明	不詳
3,216	15	531	1,479	130	1,037	10	14
100.0%	0.5%	16.5%	46.0%	4.0%	32.2%	0.3%	0.4%

なお、不就業の理由であるが、「精神的・身体的障害がある」が22.6%（前回22.1%）と最も多く、次いで「条件にあった求人なし」が17.6%（前回19.3%）、「疾病・虚弱である」が14.0%（前回12.0%）となっている。

表30-2 不就業の理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	講習等で就業準備中	保育が確保できない	乳児がいる	条件にあった求人なし	就労習慣がない	就労意欲が乏しい	疾病・虚弱である	精神的・身体的障害がある	児童に障害・疾病がある	不詳
1,037	132	121	53	183	25	70	145	234	44	30
100.0%	12.7%	11.7%	5.1%	17.6%	2.4%	6.8%	14.0%	22.6%	4.2%	2.9%

(2) 仕事の種類

就業している母親について仕事の種類をみると、「サービス業従事者」が29.2%（前回28.5%）と最も多く、次いで「事務従事者」が16.4%（前回13.5%）となっている。

表31 仕事の種類別母子生活支援施設入所世帯数

総数	専門・技術	管理	事務	販売	農林・漁業	運輸・通信	技能・生産等	保安職業	サービス	その他就業者	不詳
2,179	337	3	357	183	2	18	344	2	636	266	31
100.0%	15.5%	0.1%	16.4%	8.4%	0.1%	0.8%	15.8%	0.1%	29.2%	12.2%	1.4%

注) 「不就業」を除く。

8 転職希望の有無

就業している母親のうち、転職を希望する母親は26.1%（前回26.7%）、転職希望のない母親は56.2%（前回47.7%）となっている。

表32 転職希望の有無別母子生活支援施設入所世帯数

総数	あり	なし	わからない	不詳
2,179	569	1,225	350	35
100.0%	26.1%	56.2%	16.1%	1.6%

注) 「不就業」を除く。

9 年間所得

母子生活支援施設入所世帯の平成29年の年間所得分布は、表33のとおりとなっている。「不明」を除いた分について「平均所得金額」をみると、165万9千円（前回172万3千円）となっており、一般家庭の551.6万円（平成30年国民生活基礎調査）の3割程度に止まっている。

表33 年間所得別母子生活支援施設入所世帯数

総数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400万円以上	不明	平均所得金額
3,216	625	1,223	885	140	309	34	165.9万円
100.0%	19.4%	38.0%	27.5%	4.4%	9.6%	1.1%	

注) 「平均所得金額」は総数から不明を除いて算出。

VI 児童養護施設の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答した中学3年生以上の年長児童は、8,412人であった。そのうち男子は4,190人（49.8%）、女子は4,021人（47.8%）、性別不詳が169人（2.0%）となっている。

また、就学状況別の年長児童数は、「中学3年生」は2,225人（26.5%）、「高校生」（通信制を含む）は5,705人（67.8%）である。

それ以外では、大学・短期大学には48人（0.6%）、専修学校には72人（0.9%）が通っている。

表34 児童養護施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高校卒	大・短大	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	8,412 100.0%	2,225 26.5%	44 0.5%	2,005 23.8%	1,881 22.4%	1,692 20.1%	36 0.4%	91 1.1%	40 0.5%	48 0.6%	72 0.9%	6 0.1%	110 1.3%	162 1.9%
男	4,190 49.8% [100.0]	1,119 [26.7%]	25 [0.6%]	1,045 [24.9%]	939 [22.4%]	844 [20.1%]	24 [0.6%]	41 [1.0%]	17 [0.4%]	18 [0.4%]	37 [0.9%]	5 [0.1%]	57 [1.4%]	19 [0.5%]
女	4,021 47.8% [100.0]	1,088 [27.1%]	19 [0.5%]	943 [23.5%]	925 [23.0%]	825 [20.5%]	11 [0.3%]	49 [1.2%]	22 [0.5%]	29 [0.7%]	34 [0.8%]	1 [0.0%]	49 [1.2%]	26 [0.6%]

注) 総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

[] 内の数字は、就学状況別構成割合。

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動について質問（質問項目については参考を参照）した中で、最も多く経験しているのは「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の91.8%（前回92.7%）で、逆に最も少ないのは「自分や友人たちと計画して、旅行したこと」の26.2%（前回22.0%）となっている。

男女間で差の大きな項目は、「赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」で女子の経験が18.9ポイント男子より高くなっている。就学状況別で差の大きい項目は、「一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」、「アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」で中3から学年が高校高学年に進むに従って経験の割合が高くなっている。

「いじめ」に関しては、「他者をいじめてしまったこと」34.7%（前回19.8%）、「いじめを受けていたこと」34.7%（前回34.7%）であり、いじめた側は男子の比率が高く、いじめられる側は女子の比率が高い。

また、「虐待」に関しては、「虐待を受けたこと」が33.2%（前回30.7%）であり、女子の経験が12.4ポイント男子より高い結果となっている。

表35 児童養護施設の年長児童の経験状況

	実数	ア. 動物の世話をした	イ. 困っている人を助けた	ウ. 自分で決めたことをやりとげた	エ. 自分や友人と計画して旅行した	オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をした	カ. ボランティアをした	キ. 一人で銀行や役所の手続きをした	ク. 服や物を自分で選んで買った	ケ. アルバイトなどの仕事をした	コ. 他者をいじめた	サ. いじめを受けた	シ. 虐待を受けた
総数	8,412	64.7%	79.2%	78.6%	26.2%	40.5%	67.4%	23.7%	91.8%	41.6%	34.7%	34.7%	33.2%
男	4,190	62.0%	76.0%	78.5%	27.6%	31.4%	67.7%	24.9%	88.7%	39.8%	37.7%	30.8%	27.4%
女	4,021	68.1%	83.2%	79.4%	25.1%	50.3%	68.0%	22.3%	95.9%	43.5%	32.0%	39.0%	39.8%
中3	2,225	64.1%	79.6%	80.5%	23.8%	42.3%	64.4%	7.7%	91.6%	1.9%	32.8%	31.0%	31.6%
高1	2,005	66.3%	78.1%	77.5%	25.2%	38.9%	68.6%	20.8%	91.6%	40.6%	35.6%	34.6%	32.5%
高2	1,881	64.9%	78.4%	77.6%	26.7%	40.4%	66.3%	26.3%	92.1%	55.9%	35.6%	36.4%	34.4%
高3・4	1,728	65.0%	81.9%	81.4%	28.4%	40.2%	72.0%	40.5%	94.1%	71.1%	34.8%	37.7%	34.0%
大・専・職	126	58.7%	85.7%	84.9%	40.5%	50.8%	80.2%	56.3%	93.7%	86.5%	38.1%	39.7%	48.4%
その他	285	65.6%	79.6%	69.8%	31.2%	38.9%	66.0%	36.5%	90.9%	66.0%	39.3%	37.9%	36.8%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

(参考)表35の全質問項目一覧

- 「ア. 動物などの世話をしたこと」
- 「イ. 困っている人を助けてあげたこと」
- 「ウ. 自分で決めた事（スポーツや勉強など）をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」
- 「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」
- 「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」
- 「カ. ボランティアをしたこと」
- 「キ. 一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」
- 「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」
- 「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」
- 「コ. 他者をいじめてしまったこと」
- 「サ. いじめを受けていたこと」
- 「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

大切だと思うことについて、10項目（質問項目については参考を参照）の中から3つを選び回答してもらった。

最も選択率が高かったものは、「健康であること」の50.3%（前回51.9%）で、次いで「将来に夢を持っていること」の37.1%（前回43.2%）、「友達がたくさんいること」の35.8%（前回44.8%）となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「人のいやがる事をすすんでやること」の5.6%（前回7.3%）で、次いで「勉強ができること」の17.0%（前回13.7%）、「勇気を持っていること」の20.0%（19.9%）となっている。

男女間で差がある項目は、「運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること」では男子が女子より6.0ポイント高いのに対し、「勇気を持っていること」では女子が4.7ポイント、男子より高くなっている。

就学状況別で差の大きい項目は、中3から高校高学年に進むにつれ、「将来に夢を持っていること」及び「安定した仕事をする事」の割合が高くなっている。

表36 児童養護施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1. 勉強ができる	2. 家族と 仲良く生活	3. お金が たくさんある	4. 友達が たくさんいる	5. 健康である	6. 特技がある	7. 将来に 夢がある	8. 人のいやがる ことをやる	9. 勇気を 持っている	10. 安定した 仕事をする
総数	8,412	17.0%	29.9%	29.7%	35.8%	50.3%	30.5%	37.1%	5.6%	20.0%	29.7%
男	4,190	18.1%	29.1%	29.1%	38.2%	48.8%	33.6%	37.1%	5.8%	17.8%	28.4%
女	4,021	15.9%	30.9%	30.6%	33.6%	52.5%	27.6%	37.6%	5.3%	22.5%	31.5%
中3	2,225	22.9%	35.3%	24.9%	37.6%	49.6%	30.7%	34.1%	4.9%	21.8%	23.8%
高1	2,005	18.7%	29.3%	29.6%	37.2%	49.6%	33.1%	36.7%	4.5%	18.8%	29.5%
高2	1,881	15.5%	28.8%	32.0%	33.9%	50.5%	30.8%	38.1%	6.6%	19.9%	32.1%
高3・4	1,728	10.5%	26.4%	32.6%	35.9%	53.5%	27.8%	40.5%	6.4%	19.8%	34.0%
大・専・職	126	11.9%	24.6%	32.5%	39.7%	47.6%	29.4%	47.6%	7.1%	19.0%	34.9%
その他	285	12.6%	27.0%	39.3%	27.4%	50.9%	30.9%	36.8%	6.7%	18.2%	37.2%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

(参考)表36の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族と仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 高等学校（各種学校）進学希望

中学3年生の高等学校又は各種学校への進学希望については、「希望する」が86.7%（前回85.0%）、「考えていない」が8.2%（前回8.4%）、「希望しない」が3.9%（前回5.2%）となっている。

表37 児童養護施設の年長児童の高等学校（各種学校）進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
中学3年生	2,225	86.7%	8.2%	3.9%	1.1%
男	1,119	86.7%	7.8%	4.4%	1.2%
女	1,088	86.9%	8.6%	3.4%	1.1%

注)総数には、性別不詳を含む。

5 大学（短大）進学希望

中学3年生以上の年長児童全員の大学又は短期大学への進学希望については、「希望する」が31.8%（前回27.0%）、「考えていない」が29.2%（前回30.1%）、「希望しない」が32.6%（前回37.2%）となっており、前回調査より進学希望が増加している。性別では、女子の方が男子に比べ7.4ポイント進学の希望が高い。

表38 児童養護施設の年長児童の大学（短大）進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
総数	8,412	31.8%	29.2%	32.6%	6.5%
男	4,190	28.2%	32.2%	32.9%	6.7%
女	4,021	35.6%	26.2%	32.9%	5.3%
中3	2,225	37.6%	36.7%	23.1%	2.7%
高1	2,005	32.7%	31.5%	30.0%	5.8%
高2	1,881	29.3%	25.9%	37.6%	7.2%
高3・4	1,728	27.3%	20.9%	43.7%	8.0%
大・専・職	126	34.1%	18.3%	23.8%	23.8%
その他	285	24.9%	34.7%	33.3%	7.0%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

6 将来の希望 (1) -職業-

将来やりたい職業について、「会社や役所に勤める」、「工場に勤める」、「商店・デパート等に勤める」、「農業・漁業・林業・酪農など」、「学校の先生や保育士・看護師など」、「自動車・電車などの運転手や船乗り・パイロットなど」、「美容師・理容師」、「スポーツ・芸能・芸術」、「警察・消防・自衛官」、「大工・建設業」、「新聞記者・アナウンサー」、「医者・弁護士」などの項目の中から1つを選択した結果が、次の表39である。

男子では、「工場に勤める」8.5%（前回9.6%）、「スポーツ・芸能・芸術」7.4%（前回8.9%）、「会社や役所に勤める」7.0%（前回5.5%）が上位を占めている。

女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」17.0%（前回18.9%）、「飲食業・調理等」9.0%（前回11.2%）、「スポーツ・芸能・芸術」6.5%（前回6.4%）が上位を占めている。

表39 児童養護施設の年長児童の将来の希望(職業)

	実数	会社や 役所に 勤める	工場に 勤める	商店・ デパートに 勤める	農業・ 漁業・林業・ 酪農等	先生・ 保育士・ 看護師等	運転手・ 船乗り・ パイロット等	美容師・ 理容師	飲食業・ 調理等	スポーツ・ 芸能・芸術	警察・消防・ 自衛官	大工・ 建設業	新聞記者・ アナウンサー	医者・ 弁護士	その他	特に決め ていない
総数	8,412	5.9%	5.3%	2.7%	2.5%	11.3%	1.5%	3.8%	7.8%	7.0%	2.3%	3.5%	0.1%	1.1%	18.1%	22.9%
中3	2,225	3.8%	3.0%	1.6%	3.1%	13.0%	1.2%	4.5%	8.2%	8.4%	1.9%	4.0%	0.2%	1.3%	17.9%	25.0%
高1	2,005	5.7%	4.2%	2.7%	2.5%	11.6%	1.5%	3.3%	6.5%	6.3%	2.6%	3.0%	0.1%	1.0%	17.5%	27.2%
高2	1,881	7.3%	6.1%	3.8%	2.3%	10.2%	1.8%	3.3%	7.5%	6.9%	2.1%	3.5%	0.1%	1.2%	16.6%	22.8%
高3・4	1,728	7.2%	9.4%	3.6%	2.1%	9.9%	1.2%	4.0%	9.4%	6.5%	2.8%	3.6%	-	1.0%	21.3%	14.6%
大・専・職	126	10.3%	1.6%	1.6%	0.8%	23.8%	2.4%	2.4%	6.3%	2.4%	1.6%	6.3%	-	1.6%	16.7%	19.0%
その他	285	6.0%	3.2%	1.8%	3.9%	8.4%	1.8%	4.2%	6.0%	6.7%	1.1%	1.8%	-	1.4%	18.6%	30.2%
男	4,190	7.0%	8.5%	2.2%	3.4%	5.9%	2.6%	1.6%	6.7%	7.4%	3.8%	6.4%	0.1%	0.8%	14.1%	25.1%
中3	1,119	5.4%	5.6%	1.3%	4.1%	5.8%	2.4%	1.5%	6.7%	10.5%	3.0%	7.2%	0.3%	0.8%	13.0%	28.8%
高1	1,045	6.4%	7.1%	2.6%	3.6%	5.8%	2.8%	1.0%	5.7%	6.4%	4.3%	5.4%	0.3%	0.8%	14.0%	29.4%
高2	939	8.5%	9.4%	2.9%	2.8%	6.0%	3.2%	2.3%	7.1%	6.3%	3.7%	6.5%	-	0.6%	12.6%	23.4%
高3・4	868	8.1%	13.9%	2.3%	2.9%	6.1%	2.0%	1.6%	7.7%	6.9%	4.6%	6.9%	-	0.9%	16.6%	15.8%
大・専・職	60	13.3%	3.3%	-	-	11.7%	5.0%	1.7%	5.0%	-	1.7%	10.0%	-	1.7%	23.3%	21.7%
その他	140	5.0%	5.0%	1.4%	6.4%	4.3%	3.6%	2.1%	5.7%	5.7%	0.7%	2.9%	-	2.1%	15.7%	32.9%
女	4,021	4.8%	1.9%	3.3%	1.7%	17.0%	0.1%	6.2%	9.0%	6.5%	0.7%	0.5%	0.1%	1.4%	22.6%	20.8%
中3	1,088	2.2%	0.4%	1.7%	2.2%	20.3%	-	7.5%	9.9%	6.1%	0.7%	0.7%	0.1%	1.7%	23.1%	21.1%
高1	943	4.8%	1.1%	2.7%	1.3%	17.9%	-	6.0%	7.4%	6.4%	0.7%	0.4%	-	1.3%	21.4%	25.0%
高2	925	6.1%	2.6%	4.6%	1.8%	14.6%	0.4%	4.4%	8.1%	7.5%	0.3%	0.4%	0.2%	1.7%	20.6%	22.3%
高3・4	836	6.2%	4.4%	5.0%	1.4%	13.9%	0.2%	6.6%	11.2%	6.2%	1.1%	0.4%	-	1.0%	26.6%	13.0%
大・専・職	64	7.8%	-	3.1%	1.6%	35.9%	-	3.1%	7.8%	3.1%	1.6%	3.1%	-	1.6%	10.9%	17.2%
その他	139	7.2%	1.4%	2.2%	1.4%	12.9%	-	6.5%	5.8%	7.9%	1.4%	-	-	0.7%	22.3%	27.3%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

7 将来の希望 (2) - 家庭復帰、結婚、自立 -

もとの家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無については、もとの家庭へ復帰したいと答えた児童は、全体で29.7%（前回34.4%）であるが、14歳では39.1%（前回47.4%）が希望しており、その後は年齢が高くなるとともに減少している。

結婚して家庭を作りたいと答えた児童は、55.8%（前回41.8%）であり、年齢が高くなるとともに増加している。

施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は、32.3%（前回29.1%）となっている。性別による差があり、男子が34.1%（前回32.6%）に対して、女子は28.9%（前回25.2%）となっている。

なお、「家庭復帰希望」の項目に関しては、平成4年の調査以来、減少の傾向を示している。

（「家庭復帰希望」：47.0%（H4.12）→ 41.9%（H10.2）→ 38.4%（H15.2）→ 37.7%（H20.2）→ 34.4%（H25.2）→ 29.7%（H30.2））

表40 児童養護施設の年長児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	8,412	29.7%	55.8%	32.3%
男	4,417	27.3%	52.2%	34.1%
女	3,951	31.6%	58.2%	28.9%
14歳	238	39.1%	45.4%	33.6%
15歳	1,961	38.9%	53.7%	34.7%
16歳	1,834	32.7%	54.4%	29.1%
17歳	1,787	26.6%	58.8%	31.9%
18歳以上	1,663	18.6%	59.1%	34.5%

注) 総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

8 友人関係

友人関係について、「親身になってくれるともだちがいますか」という質問に対して、「いる」という回答をした年長児童は73.8%（前回64.5%）、「いない」は7.9%（前回6.8%）、「わからない」は16.7%（前回26.8%）であった。

表41 児童養護施設の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	8,412	73.8%	7.9%	16.7%	1.6%
男	4,417	73.2%	6.6%	13.7%	1.3%
女	3,951	72.0%	9.1%	19.7%	1.0%
14歳	238	78.2%	5.5%	14.7%	1.7%
15歳	1,961	73.6%	8.0%	17.7%	0.7%
16歳	1,834	73.7%	8.6%	16.6%	1.1%
17歳	1,787	72.7%	8.3%	17.9%	1.1%
18歳以上	1,663	75.7%	7.4%	15.5%	1.4%

注) 総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

VII 児童自立支援施設の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答した年長児童数は、610人であった。そのうち男子は420人(67.0%)、女子は181人(33.0%)となっている。

また、就学状況別の年長児童数は、「中学3年生」が最も多く、511人(83.8%)となっている。

表42 児童自立支援施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高校卒	大・短大	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	610 100.0%	511 83.8%	39 6.4%	29 4.8%	11 1.8%	8 1.3%	-	3 0.5%	-	-	1 0.2%	-	3 0.5%	5 0.8%
男	420 67.0% [100.0]	361 [86.0%]	25 [6.0%]	20 [4.8%]	5 [1.2%]	4 [1.0%]	-	-	-	-	1 [0.2%]	-	2 [0.5%]	2 [0.5%]
女	181 33.0% [100.0]	145 [80.1%]	14 [7.7%]	8 [4.4%]	6 [3.3%]	4 [2.2%]	-	3 [1.7%]	-	-	-	-	-	1 [0.6%]

注) 総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

[] 内の数字は、就学状況別構成割合。

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、児童養護施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。

全項目中で最も多く経験しているのは「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の92.1%（前回92.0%）で、逆に少ないのは「一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」で11.3%（前回16.5%）となっている。

男女間で差の大きな項目は、「赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」であり、女子が男子に比べて22.1ポイント高くなっている。

「いじめ」に関しては、「他者をいじめてしまったこと」が61.0%（前回39.8%）、「いじめを受けていたこと」が39.8%（前回38.1%）であり、いじめた側は男子の比率が高く、いじめられる側は女子の比率が高い。

また、「虐待」に関しては、「虐待を受けたこと」が全体の40.3%（前回28.3%）であり、女子が男子より14.6ポイント高い結果となっている。

表43 児童自立支援施設の年長児童の経験状況

	実数	ア. 動物の世話をした	イ. 困っている人を助けた	ウ. 自分で決めたことをやりとげた	エ. 自分や友人と計画して旅行した	オ. 赤ちゃんの世話をした	カ. ボランティアをした	キ. 一人で銀行や役所の手続きをした	ク. 服や物を自分で選んで買った	ケ. アルバイトなどの仕事をした	コ. 他者をいじめた	サ. いじめを受けた	シ. 虐待を受けた
総数	610	83.1%	82.5%	85.7%	38.2%	55.6%	64.9%	11.3%	92.1%	13.1%	61.0%	39.8%	40.3%
男	420	80.5%	81.7%	87.1%	37.6%	48.6%	64.3%	10.0%	91.0%	9.5%	63.1%	35.2%	35.7%
女	181	89.0%	84.0%	82.3%	38.7%	70.7%	65.7%	14.9%	95.0%	21.0%	56.4%	50.8%	50.3%
中3	511	83.8%	83.0%	87.5%	39.1%	55.6%	63.0%	8.8%	92.2%	8.4%	61.4%	38.4%	41.1%
中学卒業	39	89.7%	74.4%	74.4%	33.3%	48.7%	82.1%	23.1%	92.3%	25.6%	74.4%	61.5%	33.3%
高校生等	55	80.0%	90.9%	85.5%	36.4%	65.5%	76.4%	27.3%	100.0%	49.1%	52.7%	41.8%	41.8%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

(参考) 表43の全質問項目一覧

「ア. 動物などの世話をしたこと」

「イ. 困っている人を助けてあげたこと」

「ウ. 自分で決めた事（スポーツや勉強など）をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと、

「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」

「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」

「カ. ボランティアをしたこと」

「キ. 一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」

「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」

「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」

「コ. 他者をいじめてしまったこと」

「サ. いじめを受けていたこと」

「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

児童養護施設と同様に、大切なことと思うものについて3つを選び回答してもらった。

最も選択率の高かったものは、「家族と仲良く生活すること」の55.7%（前回62.8%）で、次いで「健康であること」の45.7%（前回48.0%）、「将来に夢を持っていること」の37.5%（前回35.9%）となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「人のいやがる事をすすんでやること」の8.0%（前回8.5%）で、次いで「勉強ができること」の15.4%（前回10.5%）となっている。

男女間で差がある項目は、「家族と仲良く生活すること」で男子が女子より8.8ポイント高いのに対し、「お金がたくさんあること」で女子が16.7ポイント男子より高くなっている。

表44 児童自立支援施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1. 勉強ができる	2 家族と 仲良く生活	3. お金が たくさんある	4. 友達が たくさんいる	5. 健康である	6. 特技がある	7. 将来に 夢がある	8. 人のいやがる ことをやる	9. 勇気を 持っている	10. 安定した 仕事をする
総数	610	15.4%	55.7%	21.5%	34.6%	45.7%	23.8%	37.5%	8.0%	18.4%	25.7%
男	420	16.7%	58.6%	16.4%	33.8%	46.4%	25.2%	38.6%	8.8%	15.7%	26.0%
女	181	12.7%	49.7%	33.1%	35.9%	44.2%	20.4%	35.4%	6.1%	24.3%	24.3%
中3	511	16.2%	56.8%	21.5%	34.1%	47.7%	24.1%	36.0%	7.8%	17.8%	24.3%
中学卒業	39	12.8%	66.7%	25.6%	33.3%	38.5%	23.1%	41.0%	10.3%	23.1%	25.6%
高校生等	55	10.9%	43.6%	20.0%	43.6%	36.4%	23.6%	52.7%	9.1%	21.8%	41.8%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

(参考) 表44の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族と仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの(特技)があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をすること」

4 高等学校（各種学校）進学希望

中学3年生の高等学校または各種学校への進学希望については、「希望する」が86.3%（前回83.2%）、「考えていない」が6.3%（前回6.5%）、「希望しない」が6.7%（前回9.2%）となっており、前回調査に比べ進学希望が増加している。

性別では、女子が男子に比べ進学希望が6.5ポイント高い。

表45 児童自立支援施設の年長児童の高等学校（各種学校）進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
中学3年生	511	86.3%	6.3%	6.7%	0.8%
男	361	84.5%	7.2%	7.5%	0.8%
女	145	91.0%	3.4%	4.8%	0.7%

注)総数には、性別不詳を含む。

5 大学（短大）進学希望

中学3年生以上の年長児童全員の大学または短期大学への進学希望については、「希望する」が35.6%（前回25.2%）、「考えていない」が27.2%（前回37.0%）、「希望しない」が34.6%（前回34.1%）となっており、前回調査より進学希望が増加している。

性別では高等学校（各種学校）同様、女子が男子に比べ進学希望が5.6ポイント高い。

表46 児童自立支援施設の年長児童の大学（短大）進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
総数	610	35.6%	27.2%	34.6%	2.6%
男	420	33.6%	27.1%	36.2%	3.1%
女	181	39.2%	28.2%	30.9%	1.7%
中3	511	36.8%	26.2%	34.6%	2.3%
中学卒業	39	28.2%	35.9%	33.3%	2.6%
高校生等	55	32.7%	32.7%	38.2%	5.5%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

6 将来の希望(1)－職業－

男子では、「大工・建設業」13.3%（前回 18.0%）、「スポーツ・芸能・芸術」6.9%（前回 8.8%）、「学校の先生や保育士・看護師など」6.7%（前回 5.0%）が上位を占めている。女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」17.1%（前回 17.6%）、「美容師・理容師」16.6%（前回 12.0%）、「飲食業・調理等」5.5%（前回 8.6%）が上位を占めている。

表47 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望(職業)

	実数	会社や 役所に 勤める	工場に 勤める	商店・ デパートに 勤める	農業・ 漁業・林業・ 酪農等	先生・ 保育士・ 看護師等	運転手・ 船乗り・ パイロット等	美容師・ 理容師	飲食業・ 調理等	スポーツ・ 芸能・芸術	警察・消防・ 自衛官	大工・ 建設業	新聞記者・ アナウンサー	医者・ 弁護士	その他	特に決め ていない
総数	610	3.4%	4.4%	1.1%	3.6%	9.8%	4.3%	6.6%	6.1%	6.2%	1.8%	9.5%	0.2%	1.3%	22.3%	15.7%
中3	511	3.7%	4.1%	1.2%	3.7%	9.8%	4.5%	6.8%	5.7%	7.0%	1.2%	10.0%	0.2%	1.2%	21.9%	15.5%
中学卒業 高校生等	39	2.6%	2.6%	-	2.6%	15.4%	2.6%	5.1%	12.8%	2.6%	2.6%	2.6%	-	2.6%	20.5%	20.5%
男	420	3.8%	6.0%	1.0%	4.0%	6.7%	5.2%	2.4%	6.4%	6.9%	2.4%	13.3%	0.2%	1.2%	18.8%	17.9%
中3	361	3.9%	5.8%	1.1%	4.2%	6.6%	5.3%	2.5%	5.8%	8.0%	1.7%	13.9%	0.3%	1.1%	18.8%	16.9%
中学卒業 高校生等	25	4.0%	-	-	4.0%	8.0%	4.0%	-	12.0%	-	4.0%	4.0%	-	-	24.0%	32.0%
女	181	2.2%	0.6%	1.7%	2.2%	17.1%	1.7%	16.6%	5.5%	5.0%	-	1.1%	-	1.7%	30.4%	11.0%
中3	145	2.8%	-	1.4%	2.8%	17.2%	2.1%	17.9%	5.5%	4.8%	-	0.7%	-	1.4%	29.0%	12.4%
中学卒業 高校生等	14	-	7.1%	-	-	28.6%	-	14.3%	14.3%	7.1%	-	-	-	7.1%	14.3%	-
高校生等	22	-	-	4.5%	-	9.1%	-	9.1%	-	4.5%	-	4.5%	-	-	50.0%	9.1%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

7 将来の希望 (2) ー家庭復帰、結婚、自立ー

もとの家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無については、もとの家庭へ復帰したいと答えた児童は 71.0% (前回 77.4%)、結婚して家庭を作りたいと答えた児童は 71.3% (前回 60.7%)、施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は 54.3% (前回 53.8%) となっている。

表48 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	610	71.0%	71.3%	54.3%
男	420	76.2%	70.7%	56.9%
女	181	59.7%	72.4%	48.1%
14歳	58	70.7%	75.9%	53.4%
15歳	431	76.1%	71.2%	56.6%
16歳	60	55.0%	70.0%	50.0%
17歳	15	53.3%	66.7%	13.3%
18歳以上	8	12.5%	62.5%	25.0%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

8 友人関係

友人関係について、「親身になってくれるともだちがいますか」という質問に対して、「いる」という回答をした年長児童は70.2% (前回63.7%)、「いない」は11.6% (前回8.6%)、「わからない」は17.4% (前回26.3%) であった。

表49 児童自立支援施設の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	610	70.2%	11.6%	17.4%	0.8%
男	420	74.5%	9.0%	15.5%	1.0%
女	181	59.7%	18.2%	21.5%	0.6%
14歳	58	67.2%	20.7%	12.1%	-
15歳	431	70.1%	10.2%	19.0%	0.7%
16歳	60	75.0%	8.3%	15.0%	1.7%
17歳	15	53.3%	26.7%	20.0%	-
18歳以上	8	87.5%	-	12.5%	-

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

Ⅷ 自立援助ホームの児童の状況

1 児童の就学状況

今回の調査に回答した児童数は、585 人であった。そのうち男子は 302 人（67.0%）、女子は 267 人（33.0%）となっている。就学状況別の児童数は、「中学卒業生」が最も多く、89 人（15.2%）となっている。

表50 自立援助ホームの児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高校卒	大・短大	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	585 100.0%	2 0.3%	89 15.2%	43 7.4%	49 8.4%	59 10.1%	17 2.9%	61 10.4%	51 8.7%	13 2.2%	6 1.0%	6 1.0%	158 27.0%	31 5.3%
男	302 67.0% [100.0]	1 [0.3%]	65 [21.5%]	27 [8.9%]	16 [5.3%]	23 [7.6%]	8 [2.6%]	31 [10.3%]	27 [8.9%]	6 [2.0%]	3 [1.0%]	2 [0.7%]	84 [27.8%]	9 [3.0%]
女	267 33.0% [100.0]	1 [0.4%]	24 [9.0%]	16 [6.0%]	32 [12.0%]	35 [13.1%]	9 [3.4%]	30 [11.2%]	23 [8.6%]	7 [2.6%]	3 [1.1%]	3 [1.1%]	70 [26.2%]	14 [5.2%]

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

[] 内の数字は、就学状況別構成割合。

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、児童養護施設及び児童自立支援施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。全項目中で最も多く経験しているのは「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の91.3%で、逆に少ないのは「自分や友人たちと計画して、旅行したこと」で39.0%となっている。

男女間で差の大きな項目は、「赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」であり、女子が男子に比べて20.7ポイント高くなっている。

「いじめ」に関しては、「他者をいじめてしまったこと」が43.4%、「いじめを受けていたこと」が55.4%となっている。

また、「虐待」に関しては、「虐待を受けたこと」が全体の60.0%であり、女子が男子より15.9ポイント高い結果となっている。

表51 自立援助ホームの児童の経験状況

	実数	ア. 動物の世話をした	イ. 困っている人を助けた	ウ. 自分で決めたことをやりとげた	エ. 自分や友人と計画して旅行した	オ. 赤ちゃんの世話をした	カ. ボランティアをした	キ. 一人で銀行や役所の手続きをした	ク. 服や物を自分で選んで買った	ケ. アルバイトなどの仕事をした	コ. 他者をいじめた	サ. いじめを受けた	シ. 虐待を受けた
総数	585	76.4%	81.5%	70.1%	39.0%	53.3%	66.3%	57.8%	91.3%	87.5%	43.4%	55.4%	60.0%
男	302	72.5%	80.8%	72.8%	41.7%	43.7%	68.2%	56.6%	87.4%	87.1%	44.4%	51.3%	52.6%
女	267	81.3%	82.8%	67.8%	36.7%	64.4%	65.2%	59.9%	96.3%	88.8%	43.1%	61.0%	68.5%
中学卒業	89	75.3%	83.1%	68.5%	33.7%	56.2%	67.4%	56.2%	91.0%	83.1%	50.6%	49.4%	57.3%
高1～4	168	71.4%	79.8%	71.4%	45.8%	54.8%	70.2%	57.7%	90.5%	88.1%	41.1%	56.0%	64.3%
その他	384	67.2%	69.8%	59.1%	31.5%	44.0%	54.7%	49.7%	77.9%	75.3%	35.9%	48.2%	49.7%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

(参考)表51の全質問項目一覧

- 「ア. 動物などの世話をしたこと」
- 「イ. 困っている人を助けてあげたこと」
- 「ウ. 自分で決めた事(スポーツや勉強など)をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと、
- 「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」
- 「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」
- 「カ. ボランティアをしたこと」
- 「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」
- 「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」
- 「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」
- 「コ. 他者をいじめてしまったこと」
- 「サ. いじめを受けていたこと」
- 「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

児童養護施設及び児童自立支援施設と同様に、大切なことと思うものについて3つを選び回答してもらった。

最も選択率の高かったものは、「健康であること」の49.6%で、次いで「お金がたくさんあること」の43.6%、「安定した仕事をする事」の41.7%となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「人のいやがる事をすすんでやること」の5.6%で、次いで「勉強ができること」の9.7%となっている。

男女間で差がある項目は、「友達がたくさんいること」で男子が女子より9.7ポイント高いのに対し、「健康であること」では女子が8.3ポイント男子より高くなっている。

表52 自立援助ホームの児童の大切なこと（3つ選択）

	実数	1. 勉強ができる	2 家族と 仲良く生活	3. お金が たくさんある	4. 友達が たくさんいる	5. 健康である	6. 特技がある	7. 将来に 夢がある	8. 人のいやがる ことをやる	9. 勇気を 持っている	10. 安定した 仕事をする
総数	585	9.7%	21.4%	43.6%	26.3%	49.6%	24.3%	40.9%	5.6%	21.0%	41.7%
男	302	12.9%	20.2%	42.4%	31.5%	46.0%	26.2%	39.7%	4.3%	20.5%	40.4%
女	267	6.0%	22.5%	46.1%	21.7%	54.3%	22.8%	41.6%	7.5%	21.7%	43.4%
中学卒業	89	10.1%	19.1%	48.3%	28.1%	42.7%	27.0%	41.6%	2.2%	20.2%	56.2%
高1～4	168	8.9%	20.8%	45.2%	29.2%	50.6%	22.6%	39.9%	7.1%	23.2%	39.3%
その他	384	7.6%	17.4%	32.6%	19.5%	39.1%	19.0%	31.8%	4.7%	15.1%	29.9%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

(参考)表52の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族と仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 大学（短大）進学希望

児童の大学または短期大学への進学希望については、「希望する」が27.5%、「考えていない」が30.3%、「希望しない」が36.1%となっている。性別では、女子が男子に比べ進学希望が2.0ポイント高い。

表53 自立援助ホームの児童の大学（短大）進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
総数	585	27.5%	30.3%	36.1%	6.2%
男	302	26.8%	26.8%	40.4%	6.0%
女	267	28.8%	34.8%	30.7%	5.6%
中学卒業	89	27.0%	33.7%	39.3%	-
高1～4	168	28.6%	29.8%	33.9%	7.7%
その他	384	27.1%	31.8%	35.9%	5.2%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

5 将来の希望 (1) -職業-

男子では、「飲食業・調理等」が8.9%、「大工・建築業」が7.6%、「スポーツ・芸能・芸術」が7.3%で上位を占めている。女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」が15.0%、「スポーツ・芸能・芸術」が7.9%、「会社や役所に勤める」及び「飲食業・調理等」が7.1%が上位を占めている。

表54 自立援助ホームの児童の将来の希望(職業)

	実数	会社や 役所に 勤める	工場に 勤める	商店・ デパートに 勤める	農業・ 漁業・林業・ 酪農等	先生・ 保育士・ 看護師等	運転手・ 船乗り・ パイロット等	美容師・ 理容師	飲食業・ 調理等	スポーツ・ 芸能・芸術	警察・消防・ 自衛官	大工・ 建築業	新聞記者・ アナウンサー	医者・ 弁護士	その他	特に決め ていない
総数	585	5.6%	2.2%	2.4%	0.9%	10.1%	1.2%	3.9%	7.9%	7.4%	1.0%	4.4%	0.3%	0.5%	19.0%	29.1%
中学卒業	89	2.2%	3.4%	2.2%	2.2%	6.7%	4.5%	3.4%	10.1%	5.6%	1.1%	4.5%	-	2.2%	12.4%	38.2%
高1～4	168	7.7%	2.4%	3.0%	0.6%	16.1%	-	3.6%	4.8%	6.5%	1.8%	3.6%	-	0.6%	17.9%	24.4%
その他	384	4.2%	2.3%	2.3%	1.0%	7.8%	1.6%	4.2%	9.1%	8.1%	0.8%	4.7%	0.5%	0.5%	18.5%	32.0%
男	302	4.3%	2.3%	2.3%	1.3%	5.6%	2.0%	3.6%	8.9%	7.3%	1.7%	7.6%	0.3%	1.0%	17.2%	31.5%
中学卒業	65	1.5%	4.6%	-	3.1%	4.6%	6.2%	1.5%	12.3%	7.7%	1.5%	6.2%	-	3.1%	12.3%	35.4%
高1～4	74	9.5%	1.4%	4.1%	1.4%	5.4%	-	4.1%	2.7%	5.4%	4.1%	8.1%	-	1.4%	13.5%	32.4%
その他	218	2.3%	2.8%	1.8%	1.4%	5.5%	2.8%	3.7%	11.0%	8.3%	0.9%	7.3%	0.5%	0.9%	17.0%	32.1%
女	267	7.1%	1.9%	2.6%	0.4%	15.0%	-	4.5%	7.1%	7.9%	-	1.1%	0.4%	-	21.3%	26.2%
中学卒業	24	4.2%	-	8.3%	-	12.5%	-	8.3%	4.2%	-	-	-	-	-	12.5%	45.8%
高1～4	92	6.5%	2.2%	2.2%	-	23.9%	-	3.3%	6.5%	7.6%	-	-	-	-	21.7%	18.5%
その他	160	6.9%	1.9%	3.1%	0.6%	10.6%	-	5.0%	6.9%	8.1%	-	1.3%	0.6%	-	20.6%	31.9%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

6 将来の希望 (2) ー家庭復帰、結婚、自立ー

もとの家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無については、もとの家庭へ復帰したいと答えた児童は13.3%、結婚して家庭を作りたいと答えた児童は56.9%、施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は33.5%となっている。

表55 自立援助ホームの児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	585	13.3%	56.9%	33.5%
男	302	13.9%	53.0%	35.4%
女	267	12.0%	61.0%	50.6%
14歳	-	-	-	-
15歳	6	33.3%	66.7%	33.3%
16歳	89	21.3%	53.9%	29.2%
17歳	129	15.5%	62.0%	34.1%
18歳以上	326	9.2%	56.1%	34.4%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

7 友人関係

友人関係について、「親身になってくれるともだちがいますか」という質問に対して、「いる」という回答をした児童は62.9%、「いない」は18.8%、「わからない」は16.8%であった。

表56 自立援助ホームの児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	585	62.9%	18.8%	16.8%	1.5%
男	302	63.6%	21.2%	13.9%	1.3%
女	267	62.5%	16.5%	20.2%	0.7%
14歳	-	-	-	-	-
15歳	6	50.0%	16.7%	33.3%	-
16歳	89	64.0%	22.5%	13.5%	-
17歳	129	60.5%	22.5%	16.3%	0.8%
18歳以上	326	65.0%	16.6%	17.2%	1.2%

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

Ⅸ 障害児入所施設の児童の状況

1 障害児入所施設の設置状況

今回の調査に回答した施設数は429であった。そのうち福祉型は255（59.4%）、医療型は174（40.6%）となっている。

表57 障害児入所施設の設置状況

	総数	福祉型	医療型
施設数	429	255	174
	100.0%	59.4%	40.6%

2 入所児童の契約、措置の割合

障害児入所施設に入所している児童は、9,632人であった。そのうち措置4,984人（53.1%）、契約は4,409人（46.9%）、不詳239人となっている。

表58 障害児入所施設の入所児童数

	児童数		構成割合(%)		不詳
	措置	契約	措置	契約	
総数	4,984	4,409	53.1%	46.9%	239
男	3,167	2,926	33.7%	31.2%	142
女	1,799	1,461	19.2%	15.6%	96
0歳	4	2	0.0%	0.0%	
1歳	15	21	0.2%	0.2%	
2歳	29	25	0.3%	0.3%	
3歳	52	43	0.6%	0.5%	
4歳	91	83	1.0%	0.9%	
5歳	125	94	1.3%	1.0%	
6歳	146	122	1.6%	1.3%	
7歳	163	137	1.7%	1.5%	
8歳	208	166	2.2%	1.8%	
9歳	214	178	2.3%	1.9%	
10歳	267	209	2.8%	2.2%	
11歳	284	219	3.0%	2.3%	
12歳	333	241	3.5%	2.6%	
13歳	399	293	4.2%	3.1%	
14歳	410	391	4.4%	4.2%	
15歳	509	434	5.4%	4.6%	
16歳	580	524	6.2%	5.6%	
17歳	542	546	5.8%	5.8%	
18歳以上	606	618	6.5%	6.6%	
平均年齢	13.0歳	13.3歳	-	-	

注)総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

平均は、不詳を除く。

3 入所時の年齢別児童数

障害児入所施設に入所する児童の平均年齢は8.4歳であった。

表59 委託時又は入所時の年齢別児童数

	児 童 数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
総数	9,632	100.0%
0歳	409	4.2%
1歳	274	2.8%
2歳	452	4.7%
3歳	632	6.6%
4歳	589	6.1%
5歳	569	5.9%
6歳	1038	10.8%
7歳	556	5.8%
8歳	488	5.1%
9歳	490	5.1%
10歳	561	5.8%
11歳	527	5.5%
12歳	744	7.7%
13歳	575	6.0%
14歳	519	5.4%
15歳	788	8.2%
16歳	274	2.8%
17歳	125	1.3%
18歳	18	0.2%
19歳	-	-
平均年齢	8.4歳	・

注)総数には、年齢不詳を含む。

平均は、不詳を除く。

4 在所期間別児童数

障害児入所施設に入所している児童の平均在所期間は4.6年であった。

表60 委託期間又は在所期間別児童数

	児童数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
総数	9,632	100.0%
1年未満	1,548	16.1%
1年以上2年未満	1,392	14.5%
2年以上3年未満	1,159	12.0%
3年以上4年未満	953	9.9%
4年以上5年未満	800	8.3%
5年以上6年未満	670	7.0%
6年以上7年未満	466	4.8%
7年以上8年未満	393	4.1%
8年以上9年未満	305	3.2%
9年以上10年未満	362	3.8%
10年以上11年未満	312	3.2%
11年以上12年未満	516	5.4%
12年以上	508	5.3%
不詳	248	2.6%
平均期間	4.6年	-

注)平均は、不詳を除く。

5 入所児童の入所経路

障害児入所施設に入所する前に児童が生活していた場所については、家庭(62.4%)が最も多くの割合を占めた。次いで医療機関(10.7%)、児童養護施設(7.4%)の順であった。

表61 施設への入所経路別児童数

	総数	家庭	乳児院	児童養護施設	他の児童福祉施設	里親家庭	家庭裁判所	医療機関	ファミリーホーム	その他	不詳
児童数	9,632 100.0%	6,011 62.4%	693 7.2%	709 7.4%	667 6.9%	49 0.5%	1 0.0%	1,030 10.7%	19 0.2%	350 3.6%	103 1.1%

6 児童の就学状況

就学状況としては小学校(27.4%)、中学校(25.1%) 高校(30.1%)の割合となっている。
高校卒業後、大学若しくは特別支援学校に進学したのも85人(0.9%)いた。

表62 就学状況別児童数

	総数	小学校低 学年(1～ 3)	小学校高 学年(4～ 6)	中学校	中学卒				高校卒						不詳	
					高校(公 立)	高校(私 立)	就職	その他	大学・短 大 (公立)	大学・短 大 (私立)	特別支援 学校専攻 科	専修 学校	職業 訓練 校	就職		その 他
障害児 入所施設	9,632 100.0%	1,083 11.2%	1,560 16.2%	2,414 25.1%	2,848 29.6%	52 0.5%	2 0.0%	352 3.7%	9 0.1%	0 0.0%	76 0.8%	0 0.0%	5 0.1%	12 0.1%	225 2.3%	994 10.3%

7 児童の心身の状況

児童の心身の状況(重複回答)については、知的障害(74.8%)が最も該当児童が多く、次いで広汎性発達障害(25.2%)、重度心身障害(21.5%)となっている。

表63-1 心身の状況別児童数

	総数	該当 あり	心身の状況(重複回答)																	
			身体 虚弱	肢体 不自由	重度心 身障害	視覚 障害	聴覚 障害	言語 障害	知的 障害	てんか ん	外傷後 ストレス 障害 (PTSD)	反応 性愛 着障 害	注意欠 陥多動 性障害 (ADHD)	学習 障害 (LD)	広汎 性発 達障 害(自 閉症ス ペクト ラム)	チック	吃音 症	発達 性強 調運 動障 害	高次 脳機 能障 害	その 他 の障 害等
障害児 入所施設	9,632 100.0%	9,480 98.4%	363 3.8%	1,563 16.2%	2,067 21.5%	405 4.2%	285 3.0%	943 9.8%	7,203 74.8%	2,005 20.8%	23 0.2%	267 2.8%	679 7.0%	101 1.0%	2,430 25.2%	61 0.6%	56 0.6%	62 0.6%	48 0.5%	1,134 11.8%

総数には、不詳を含む。

表63-2 心身の状況別児童数

	総数	LGBT
障害児入所施設	9,632 100.0%	1 0.0%

総数には、不詳を含む。

8 児童の罹患傾向

児童の罹患傾向（重複回答）をみると、「罹患傾向あり」が半数を超えており(59.2%)、風邪、ひきつけ、発熱等が上位理由を占めている。

表64 罹患傾向別児童数

	総数	罹患傾向あり	罹患状況内訳(重複回答)					
			ひきつけたことがある	下痢をしやすい	よく熱をだす	風邪をひきやすい	湿疹が出やすい	その他
障害児入所施設	9,632	5,700	1,021	386	879	1,192	861	1,361
	100.0%	59.2%	10.6%	4.0%	9.1%	12.4%	8.9%	14.1%

注)総数には、不詳を含む。

9 特に指導上留意している点

指導上の留意点（重複回答）としては、「基本的な生活習慣」(63.2%)「精神的・情緒的な安定」(60.8%)「家族との関係」(52.7%)といった対人面を重視した支援をしていた。

表65 特に支援上留意している点別児童数

	総数	特に留意している点あり	留意点(重複回答)																			
			精神的・情緒的な安定	友人との関係	職員(里親・養育者)との関係	家族との関係	学習への興味・関心	思いやり	基本的な生活習慣	将来設計	男女交際	自主性・積極性	自己表現力	文化的背景	経済観念	医療的対応	心理的対応	社会規範	就職及び就業の安定	行動上の問題	発達支援	その他
障害児入所施設	9,632	9,615	5,860	3,319	974	5,080	1,600	1,369	6,089	1,222	871	1,523	2,936	114	579	3,774	1,507	1,470	487	3,174	4,135	129
	100.0%	99.8%	60.8%	34.5%	10.1%	52.7%	16.6%	14.2%	63.2%	12.7%	9.0%	15.8%	30.5%	1.2%	6.0%	39.2%	15.6%	15.3%	5.1%	33.0%	42.9%	1.3%

10 学業の状況

学業の状況については、「遅れがある」(26.2%)が最も高く、次いで「すぐれている」(2.1%)「特に問題なし」(0.7%)という結果であった。

表66 学業の状況別児童数

	総数	すぐれている	特に問題なし	遅れがある	不詳
障害児入所施設	9,632	201	69	2,522	6,840
	100.0%	2.1%	0.7%	26.2%	71.0%

注)就学前は、調査対象外のため不詳に含む。

1.1 通学状況

通学状況については、「普通に通学」が最も多く、その割合は、85.8%となっている。

表67 通学状況別児童数

	総数	普通に通学	欠席しがち	不詳
障害児入所施設	9,632 100.0%	8,264 85.8%	261 2.7%	1,107 11.5%

注)就学前は、調査対象外のため不詳に含む。

X 障害児入所施設の委託（入所）時の家庭の状況

1 養護問題発生理由

養護問題発生理由（複数回答）について、最も多い理由としては「児童の障害」（50.8%）となっている。

また、一般的に「虐待」とされる「放任・怠だ」「虐待・酷使」「棄児」「養育拒否」を合計すると、53.4%となっている。

表68 養護問題発生理由別児童数（複数回答）

	児童数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
総数	9,632	100.0%
父の死亡	90	0.9%
母の死亡	257	2.7%
父の行方不明	109	1.1%
母の行方不明	215	2.2%
父母の離婚	847	8.8%
両親の未婚	*	0.0%
父母の不和	218	2.3%
父の拘禁	76	0.8%
母の拘禁	84	0.9%
父の入院	46	0.5%
母の入院	293	3.0%
家族の疾病の付き添い	70	0.7%
次子出産	146	1.5%
父の就労	346	3.6%
母の就労	526	5.5%
父の精神疾患等	239	2.5%
母の精神疾患等	1,764	18.3%
父の放任・怠だ	630	6.5%
母の放任・怠だ	1,728	17.9%
父の虐待・酷使	787	8.2%
母の虐待・酷使	1,023	10.6%
棄児	94	1.0%
養育拒否	882	9.2%
破産等の経済的理由	293	3.0%
児童の監護困難	1,995	20.7%
児童の障害	4,891	50.8%
その他	1,955	20.3%
不詳	2	0.0%

注) * は、調査項目としていない。

2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類

「虐待経験あり」に該当する割合は、37.7%となっている。

また、内訳としてはネグレクト(23.9%)が最も多く、次いで身体的虐待(16.7%)であった。

表 69 被虐待経験の有無及び虐待の種類

	総数	虐待経験あり	虐待経験の種類(複数回答)				虐待経験なし	不明
			身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待		
障害児 入所施設	9,632	3,632	1,604	216	2,299	552	5,293	707
	100.0%	37.7%	16.7%	2.2%	23.9%	5.7%	55.0%	7.3%

注)総数には、不詳を含む。

3 委託(入所)時の保護者の状況

委託(入所)時に「両親又は一人親あり」の割合が最も多く、96.1%であった。

表 70-1 委託(入所)時の保護者の状況別児童数

	総数	両親又は一人親	両親ともいない	両親とも不明	不詳
障害児 入所施設	9,632	9,259	244	111	18
	100.0%	96.1%	2.5%	1.2%	0.2%

「両親又は一人親あり」の児童についてみると、最も割合の多い保護者は「実父母有」で49.6%、次いで「実母のみ」で32.9%となっている。

表 70-2 両親又は一人親ありの保護者の状況別児童数

	総数	実父母有	実父のみ	実母のみ	実父養母	養父実母	養父養母	養父のみ	養母のみ	不詳
障害児 入所施設	9,259	4,591	882	3,047	148	513	23	9	20	26
	100.0%	49.6%	9.5%	32.9%	1.6%	5.5%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%

「両親ともいない・不明」の児童についてみると、祖父母が養育を行っている割合(40.8%)が最も高かった。

表 70-3 両親ともいない・不明の保護者の状況別児童数

	総数	祖父母	養父母の親	兄・姉	義兄義姉	伯(叔)父母	義伯(叔)父母	里親	その他	なし	不明	不詳
障害児 入所施設	355	145	2	22	0	25	2	15	55	29	40	20
	100.0%	40.8%	0.6%	6.2%	0.0%	7.0%	0.6%	4.2%	15.5%	8.2%	11.3%	5.6%

4 委託（入所）時の家庭の課税状況

委託（入所）時の課税状況についての割合は「所得税課税」（52.0%）の割合が最も多く、次いで生活保護受給世帯（15.3%）であった。

表 71 入所時の家庭の課税状況

	総数	生活保護受給	所得税課税	その他	不明	不詳
障害児 入所施設	9,632 100.0%	1,476 15.3%	5,009 52.0%	720 7.5%	2,214 23.0%	213 2.2%

XI 障害児入所施設の家族との関係

1 家族との交流関係

家族との交流関係については、家族と電話、面会、一時帰宅等を通じて「交流のある」割合は71.3%であった。家族と「交流なし」の割合も、9.5%あった。

表72 家族との交流関係別児童数

	総数	交流あり			交流なし	不詳
		電話・メール・手紙	面会	一時帰宅		
総数	9,632 100.0%	481 5.0%	3,005 31.2%	3,382 35.1%	919 9.5%	1,845 19.2%

次に家族との交流頻度であるが、「年2回～11回」がいずれの項目においても最も高く、「電話・メール・手紙」52.0%、「面会」60.4%、「一時帰宅」49.6%となった。

表72-2 家族との交流頻度別児童数

	児童数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
【電話・メール・手紙】		
総数	227	100.0%
月1回以上	37	16.3%
年2回～11回	118	52.0%
年1回ぐらい	71	31.3%
不詳	1	0.4%
【面会】		
総数	925	100.0%
月1回以上	175	18.9%
年2回～11回	559	60.4%
年1回ぐらい	189	20.4%
不詳	2	0.2%
【一時帰宅】		
総数	359	100.0%
月1回以上	159	44.3%
年2回～11回	178	49.6%
年1回ぐらい	18	5.0%
不詳	4	1.1%

2 児童の今後の見通し

退所後移行予定先別に見てみると、「18歳後、移行予定あり」35.7%、「18歳後、移行予定なし」34.1%の割合となっている。

表 73 児童の今後の見通し別児童数

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	18歳後、移行予定あり	18歳後、移行予定なし	養子縁組	里親・ファミリーホーム委託	医療機関へ移行予定	他施設へ移行予定	その他	不詳
障害児入所施設	9,632	1,113	62	3,436	3,288	62	3	62	353	16	1,237
	100.0%	11.6%	0.6%	35.7%	34.1%	0.6%	0.0%	0.6%	3.7%	0.2%	12.8%